

2018 年度 対日世論調査



公益財団法人日本台湾交流協会

2019年11月13日

目次

一、調査背景と目的	3
二、調査設計と枠組み	4
三、サンプルの加重平均設定	5
四、調査結果	7
五、結論	61
(一) 日本に対する意識とイメージ	61
(二) 日本への旅行	61
(三) 日台関係	62
(四) 日本台湾交流協会の知名度	63

一、調査背景と目的

本調査は、主に、2018年度の台湾における一般の人々の日本に対する印象を理解し、公益財団法人日本台湾交流協会（以後「当協会」とする）が今後日本文化等関連分野における活動を推進する際の参考とすることを目的として、当協会の委託により、ニールセン（ニール森行銷研究顧問股份有限公司）が台湾における対日世論調査を行い、以下4つの面にて検討を行い報告するものである：

- (一) 日本に対する意識とイメージ
 - 日本に対する好感度，親近感，イメージ
 - 関心のある分野
- (二) 日本への旅行
 - 日本旅行への意欲
 - 日本へ旅行する魅力，情報源
- (三) 日台関係
 - 日台関係に関する見解と期待
 - 日本に対する信頼度とその理由
 - 今後の日台間交流についての考えと懸念
 - 今後の日台関係発展への期待
- (四) 日本台湾交流協会の知名度
 - 日本台湾交流協会の知名度
 - ホームページ・Facebookの閲覧状況

二、調査設計と枠組み

(一) 調査方式

- インターネット調査：20-49 歳¹
- 電話調査：50-80 歳

(二) 調査地域：全台湾（北部、中部、南部及び東部。離島含まず）

(三) 調査対象：20-80 歳の男女

(四) サンプル数：計 1,003 収集済

- インターネット調査：計 662 収集済
- 電話調査：計 341 収集済
- 統計上、サンプル数が 1,000 に達すると、抽出誤差は± 3.10% 内に抑えられ、調査結果はメディア報道に際しての信頼性を満たす。

(五) 平均調査時間：14 分

(六) サンプルング方式：人口比率分布に基づき、性別、地域及び年齢別にサンプリング

- 20-49 歳の回答者はニールセンのネットデータベースを通じてサンプリングを実施
- 50-80 歳の回答者は、電話調査によるランダムサンプリング

(七) 調査期間：2019 年 2 月 14 日～2019 年 2 月 27 日

- 本調査は、2018 年度に実施した調査であるため、タイトルを「2018 年度対日世論調査」とする。

¹ 40-49 歳の回答者は、2015 年度調査においては、電話調査方式にて調査を行っていたが、2018 年度はインターネット調査方式にて調査を行った。

三、サンプルの加重平均設定

本調査は1,003サンプルを収集し、さらに2018年の台湾の人口分布に基づき、サンプルの加重平均を設定し、今次調査を代表する母数を得た。加重平均設定後のサンプルは以下のとおり²：

Total		性別	
		男	女
実際値	1,003	498	505
加重値 ('000)	18,307	9,028	9,280

Total		年齢				
		20-29	30-39	40-49	50-64	65-80
実際値	1,003	214	225	223	239	102
加重値 ('000)	18,307	3,127	3,637	3,665	5,194	2,685

Total		地域			
		北部	中部	南部	東部
実際値	1,003	440	245	273	45
加重値 ('000)	18,307	8,023	4,510	4,984	791

Total		最終学歴			
		中卒 或いは それ以下	高校/ 技術高校卒	大学/ 専門学校/ 技術大学卒	大学院卒 或いは それ以上
実際値	1,003	96	204	610	93
加重値 ('000)	18,307	2,329	3,981	10,396	1,601

² 加重平均設定の計算において四捨五入を行っていることから、合計数 (Total) に一部誤差あり。

北部	男性		女性	
	実際値	加重値 ('000)	実際値	加重値 ('000)
Total	229	3,879	211	4,144
20-29	60	690	25	644
30-39	42	799	60	832
40-49	70	796	33	852
50-64	42	1,073	65	1,193
65-80	15	521	28	624

中部	男性		女性	
	実際値	加重値 ('000)	実際値	加重値 ('000)
Total	117	2,264	128	2,246
20-29	25	425	31	392
30-39	23	463	27	450
40-49	22	439	33	440
50-64	36	630	25	623
65-80	11	307	12	340

南部	男性		女性	
	実際値	加重値 ('000)	実際値	加重値 ('000)
Total	129	2,483	144	2,501
20-29	30	434	33	401
30-39	19	483	43	469
40-49	25	488	31	495
50-64	35	718	29	726
65-80	20	360	8	409

東部	男性		女性	
	実際値	加重値 ('000)	実際値	加重値 ('000)
Total	23	402	22	389
20-29	5	74	5	67
30-39	6	74	5	68
40-49	2	78	7	75
50-64	5	118	2	113
65-80	5	58	3	66

四、調査結果

回答者基本情報

回答者の性別、年齢、地域、婚姻状況、最終学歴、就業状況と世帯月収の分布は以下の表のとおり：

	2018	2015		2018	2015
性別	%	%	最終学歴	%	%
男性	49	49	中卒或いはそれ以下	13	11
女性	51	51	高校/技術高校卒	22	27
年齢			大学/専門学校/技術大学卒	57	51
20-29歳	17	18	大学院卒或いはそれ以上	9	11
30-39歳	20	22	就業状況		
40-49歳	20	20	フルタイム	62	56
50-64歳	28	28	兼業	6	5
65-80歳	15	13	専業主夫・主婦	9	14
地域			学生	4	5
北部	44	45	求職中/無職	4	3
中部	25	25	退職	15	17
南部	27	25	世帯月収		
東部	4	5	NT24,999元以下	7	7
婚姻状況			NT25,000元～49,999元	15	19
未婚	35	31	NT50,000元～99,999元	30	33
既婚	59	67	NT100,000元～139,999元	19	18
離婚・別居	4	1	NT140,000元以上	14	13
寡夫・寡婦	2	1	収入なし	1	1
			回答拒否	5	4
			不明	8	4

	2018	2015
加重値（'000）： 全ての回答者	(18,307)	(17,360)
実際サンプル数：	(1,003)	(1,009)

備考：

1. 調査結果の数値は、加重平均設定後の数値であり、以下の数字はすべて四捨五入後の百分率にて表示する。
2. 図表中の「NA」は当該年度に資料がないこと、「-」は当該項目には回答者がいないこと、「*」は当該項目の回答者数比率を四捨五入した整数が0であることを示す。
3. 図表中の 2015 及び 2018 はそれぞれ 2015 年度調査及び 2018 年度調査を表す。

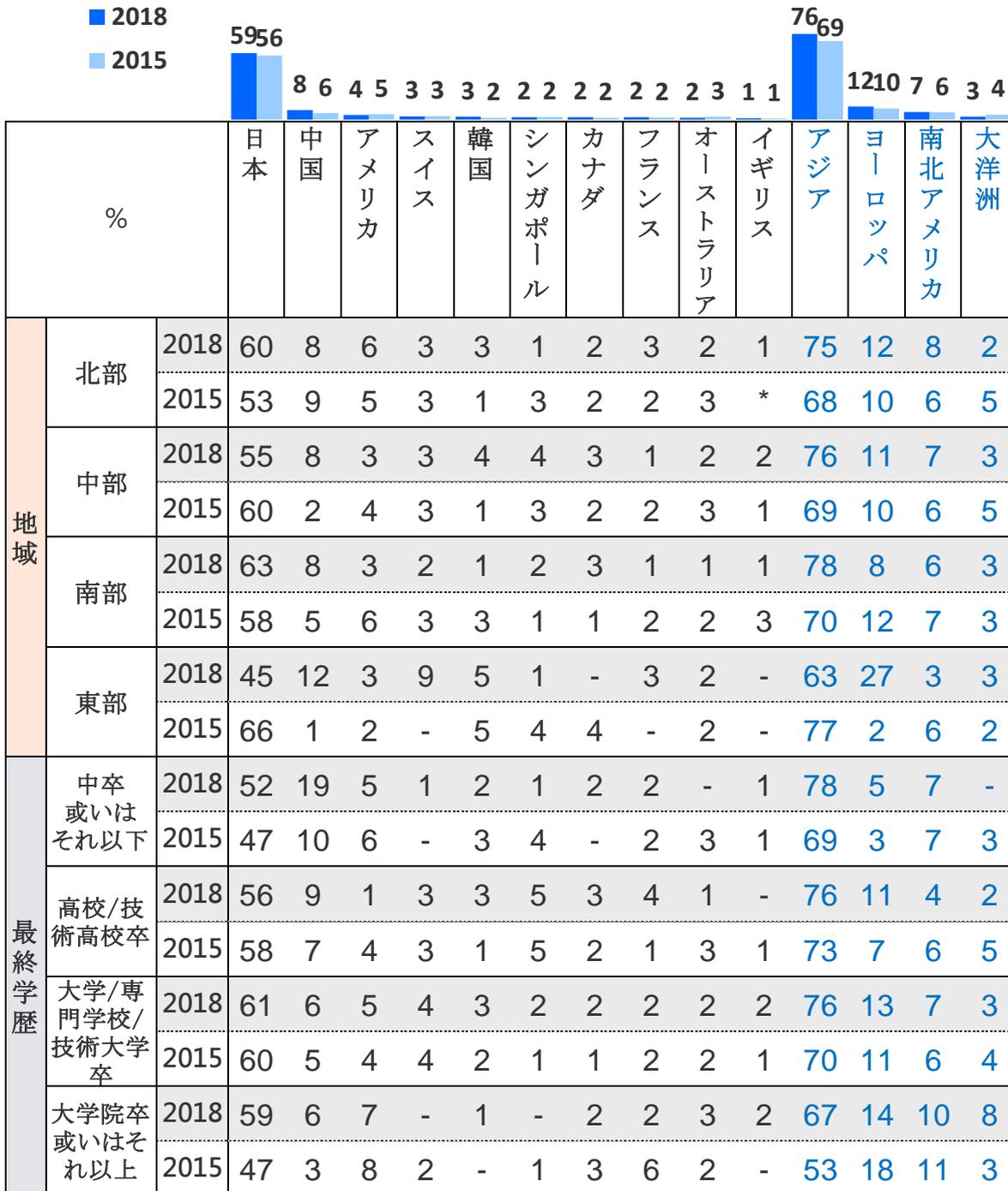
Q1: 台湾を除き、あなたの最も好きな国(地域)はどこですか。

※自由回答形式、回答者は答えを一つ回答。

		■ 2018 ■ 2015		5956	8	6	4	5	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	3	1	1	7669	1210	7	6	3	4
%		日本	中国	アメリカ	スイス	韓国	シンガポール	カナダ	フランス	オーストラリア	イギリス	アジア	ヨーロッパ	南北アメリカ	大洋洲												
性別	男性	2018	61	11	4	2	1	1	1	1	2	1	79	9	6	4											
		2015	59	7	5	2	1	2	1	1	3	1	72	7	6	4											
	女性	2018	57	6	4	4	5	3	3	3	1	2	72	14	8	2											
		2015	54	4	5	4	3	3	2	2	3	1	67	13	7	5											
年齢	20-29	2018	66	5	5	1	8	2	*	1	2	2	83	8	6	2											
		2015	62	5	3	1	3	1	2	1	3	2	74	7	4	4											
	30-39	2018	70	3	3	1	2	1	1	2	4	1	79	11	5	4											
		2015	65	3	3	2	3	2	*	2	2	1	76	8	4	4											
	40-49	2018	55	10	4	2	3	2	4	2	1	*	75	12	8	4											
		2015	52	5	4	4	1	4	2	1	3	*	67	9	6	6											
	50-64	2018	54	11	2	6	*	4	2	2	*	2	75	14	5	1											
		2015	53	6	6	6	1	1	1	2	2	1	65	12	8	3											
	65-80	2018	48	12	9	2	*	3	3	3	2	1	65	12	12	3											
		2015	50	10	7	2	-	4	4	3	4	1	65	11	11	5											

Q1: 台湾を除き、あなたの最も好きな国(地域)はどこですか。

※自由回答形式、回答者は答えを一つ回答。



Q2: 今後台湾が最も親しくすべき国(地域)はどこですか。

※自由回答形式、回答者は答えを一つ回答。

■ 2018 ■ 2015

			日本	中国	アメリカ	シンガポール	韓国	ベトナム	タイ	オーストラリア	ドイツ	マレーシア										
		%	37	39	31	22	15	14	3	3	1	2	1	1	1	*	1	1	*	1	*	*
性別	男性	2018	37	32	16	1	1	2	2	1	*	1										
		2015	42	25	13	2	1	1	*	1	1	*										
	女性	2018	37	29	14	4	2	1	*	*	1	*										
		2015	37	20	16	4	2	*	*	*	1	1										
年齢	20-29	2018	46	27	17	1	2	*	2	*	*	-										
		2015	52	21	15	1	2	-	1	1	*	-										
	30-39	2018	48	22	16	2	2	1	2	1	-	1										
		2015	48	22	17	3	1	*	-	*	1	-										
	40-49	2018	40	33	15	5	2	1	1	*	*	-										
		2015	34	23	10	5	2	1	1	*	2	-										
	50-64	2018	25	35	15	3	*	1	1	1	1	*										
		2015	32	22	15	3	2	1	*	*	2	*										
	65-80	2018	31	35	11	4	1	3	-	1	-	1										
		2015	30	25	16	3	2	1	-	2	-	3										

Q2: 今後台湾が最も親しくすべき国(地域)はどこですか。

※自由回答形式、回答者は答えを一つ回答。

			日本	中国	アメリカ	シンガポール	韓国	ベトナム	タイ	オーストラリア	ドイツ	マレーシア										
			37	39	31	22	15	14	3	3	1	2	1	1	1	*	1	1	*	1	*	*
地域	北部	2018	41	28	15	2	2	1	1	1	1	1										
		2015	39	25	12	3	2	1	1	1	2	*										
	中部	2018	32	32	17	3	1	2	*	1	1	-										
		2015	41	17	16	3	2	*	*	1	1	1										
	南部	2018	37	30	14	4	1	1	1	*	*	*										
		2015	40	21	18	3	1	1	-	1	1	1										
	東部	2018	31	46	15	-	-	-	-	-	-	-										
		2015	31	31	16	3	-	-	-	-	-	-										
	最終学歴	中卒 或いは それ以下	2018	29	30	12	2	3	1	-	-	-	-									
			2015	31	18	9	7	3	1	-	3	-	-									
高校/技術 高校卒		2018	32	37	12	3	-	1	1	2	1	1										
		2015	38	20	14	3	2	*	1	*	1	2										
大学/専門 学校/ 技術大学 卒		2018	41	29	17	3	1	1	1	*	1	*										
		2015	42	23	16	3	1	1	*	*	1	-										
大学院卒 或いはそ れ以上		2018	39	30	13	4	-	-	2	1	-	1										
		2015	39	27	15	-	-	1	-	2	3	-										

Q3: 台湾に最も影響を与えている国(地域)はどこですか。

※自由回答形式、回答者は答えを一つ回答。

			中国	アメリカ	日本	韓国	シンガポール	ベトナム	マレーシア	インドネシア	オランダ	ドイツ
		%	45	33	15	2	*	*	*	*	*	*
性別	男性	2018	45	38	13	1	*	*	*	*	-	*
		2015	50	35	10	1	1	-	-	-	-	-
	女性	2018	45	30	17	3	1	*	-	-	*	-
		2015	50	28	12	2	1	-	-	-	-	-
年齢	20-29	2018	51	27	20	2	-	-	-	-	-	-
		2015	54	32	9	1	-	-	-	-	-	-
	30-39	2018	37	37	22	2	1	-	-	-	-	-
		2015	57	21	15	3	1	-	-	-	-	-
	40-49	2018	44	35	18	1	-	*	-	-	-	-
		2015	48	33	10	2	1	-	-	-	-	-
	50-64	2018	48	36	7	2	-	*	-	*	*	*
		2015	44	39	8	2	1	-	-	-	-	-
	65-80	2018	46	30	12	-	2	-	1	-	-	-
		2015	47	29	15	-	2	-	-	-	-	-

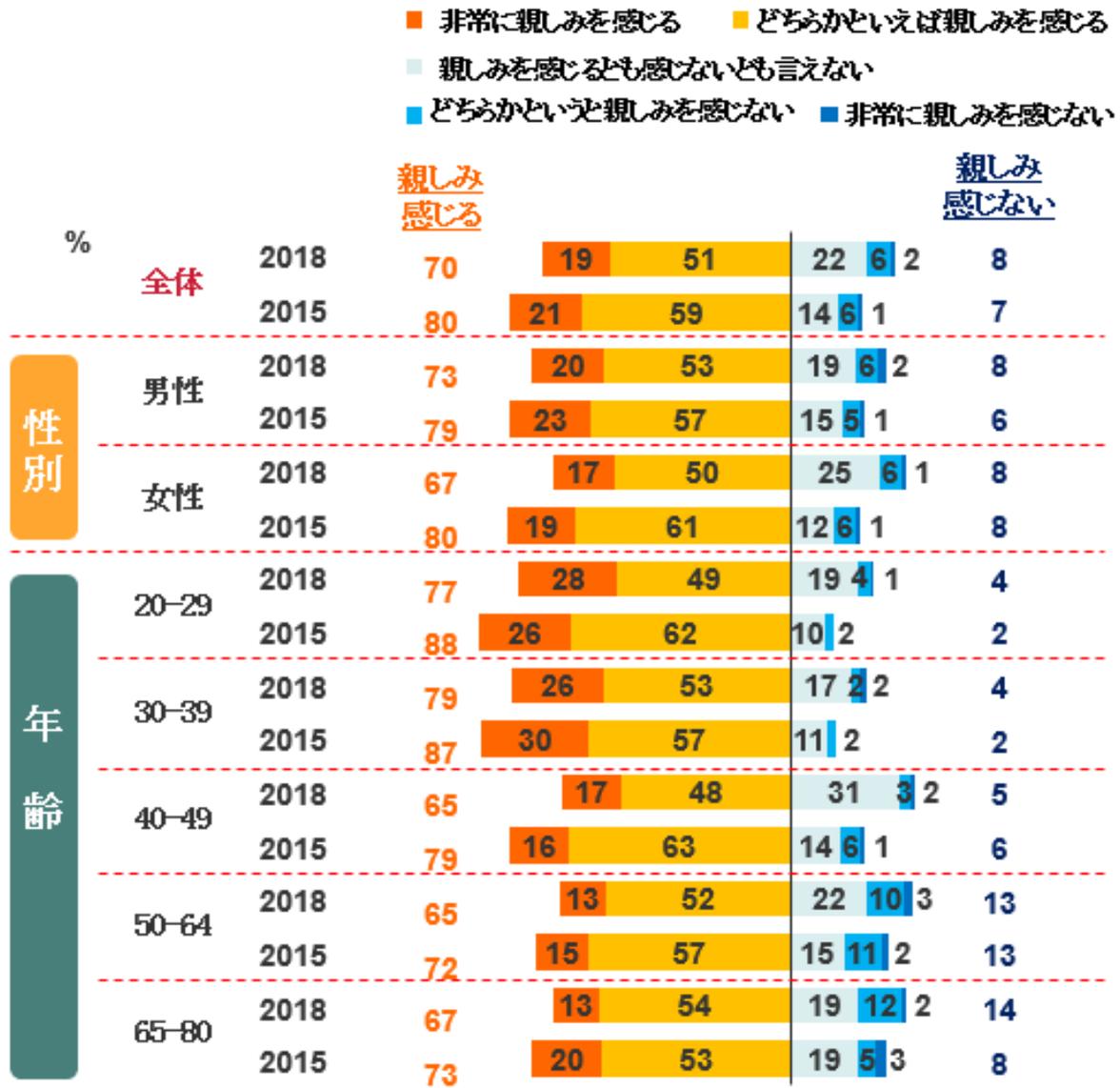
Q3: 台湾に最も影響を与えている国(地域)はどこですか。

※自由回答形式、回答者は答えを一つ回答。



Q4: 日本に親しみを感じますか(一つ選択)。

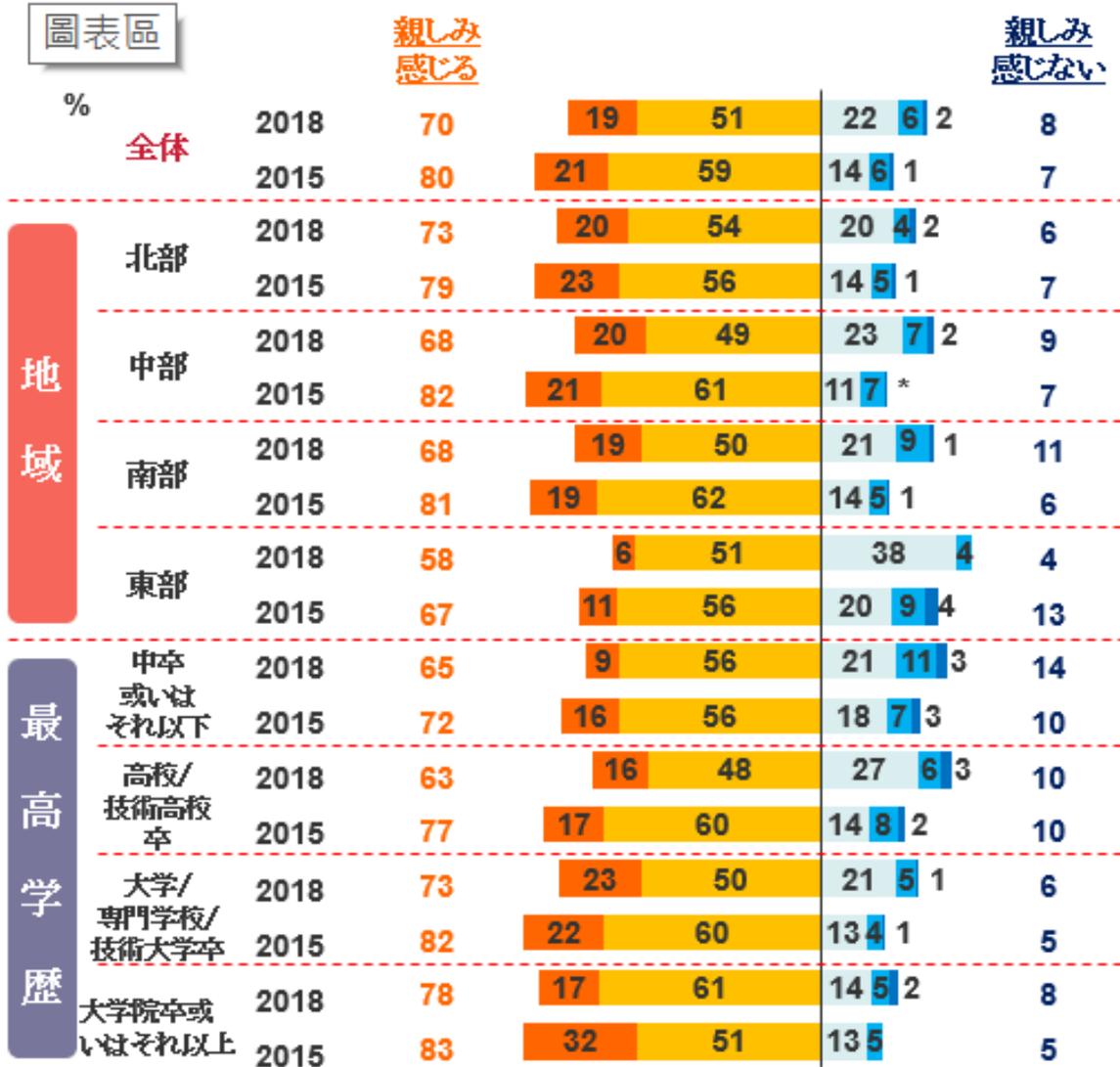
※2015年度の設問は、「親しみ」の度合いからみると、日本は“親しみ”を感じる国ですか？」



Q4: 日本に親しみを感じますか(一つ選択)。

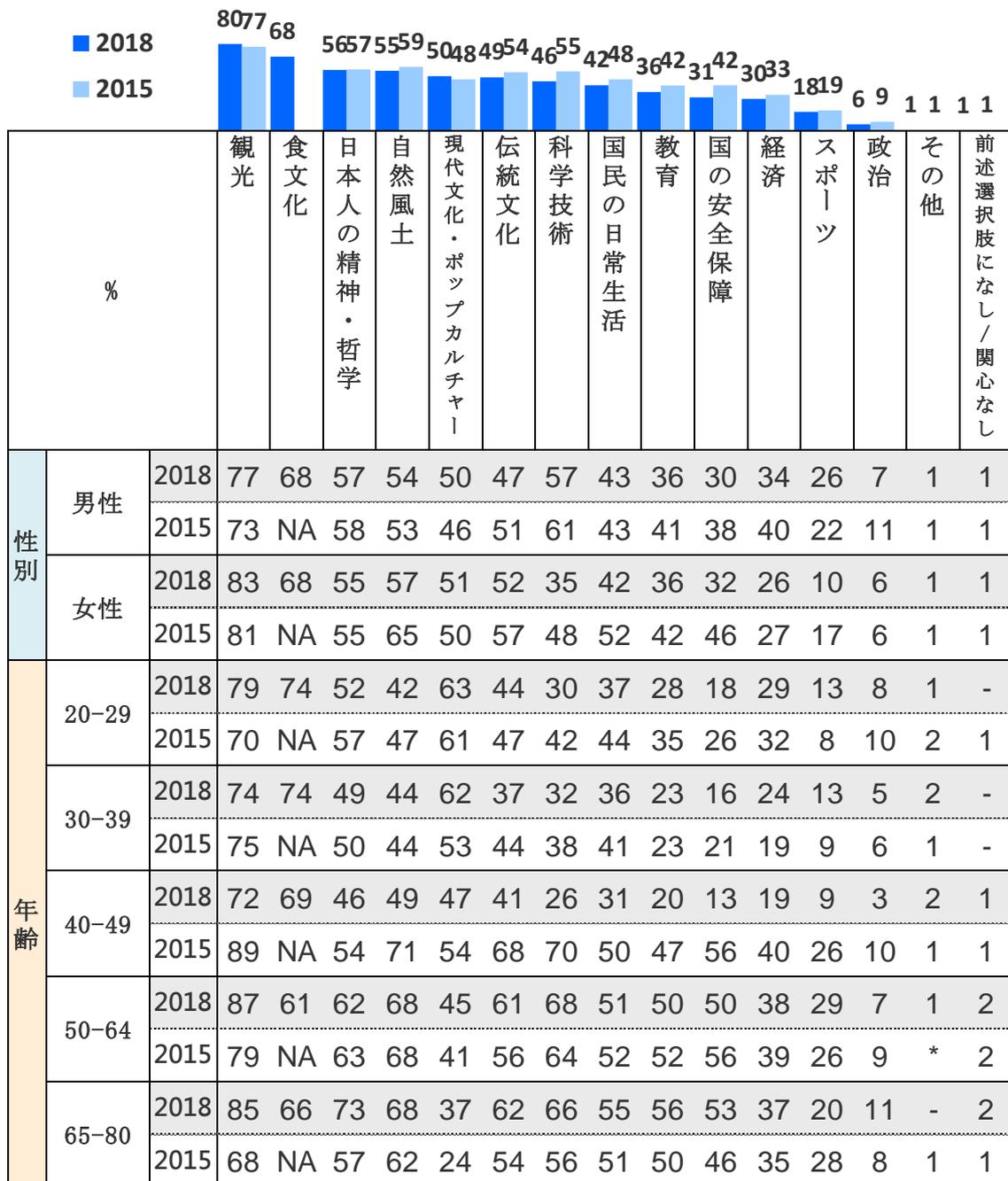
※2015年度の設問は、「親しみ」の度合いからみると、日本は“親しみ”を感じる国ですか？」

- 非常に親しみを感ずる
- どちらかといえば親しみを感ずる
- 親しみを感ずるも感ずらないとも言えない
- どちらかといえば親しみを感ずらない
- 非常に親しみを感ずらない



Q5: 日本のどの分野に関心がありますか(複数回答可)。

※「食文化」は2018年度追加した選択肢。



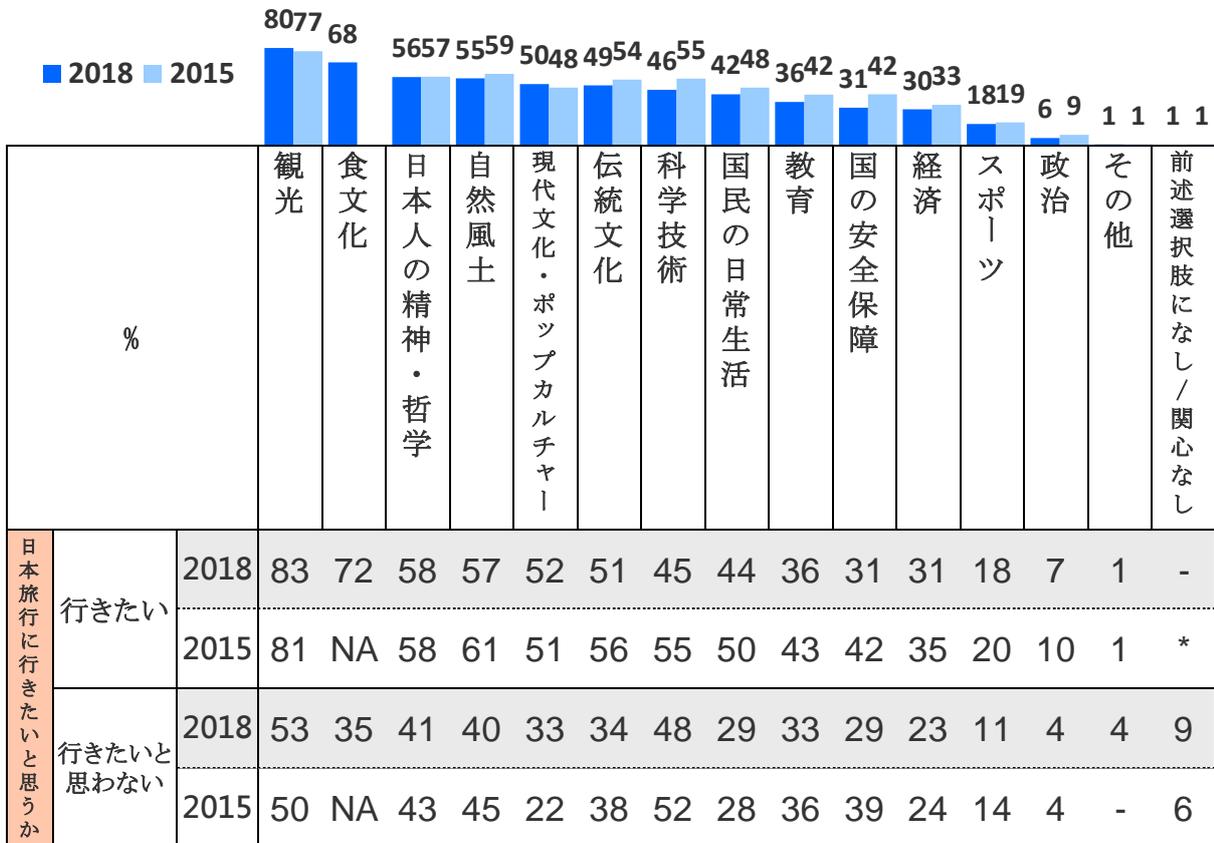
Q5: 日本のどの分野に関心がありますか(複数回答可)。

※「食文化」は2018年度追加した選択肢。



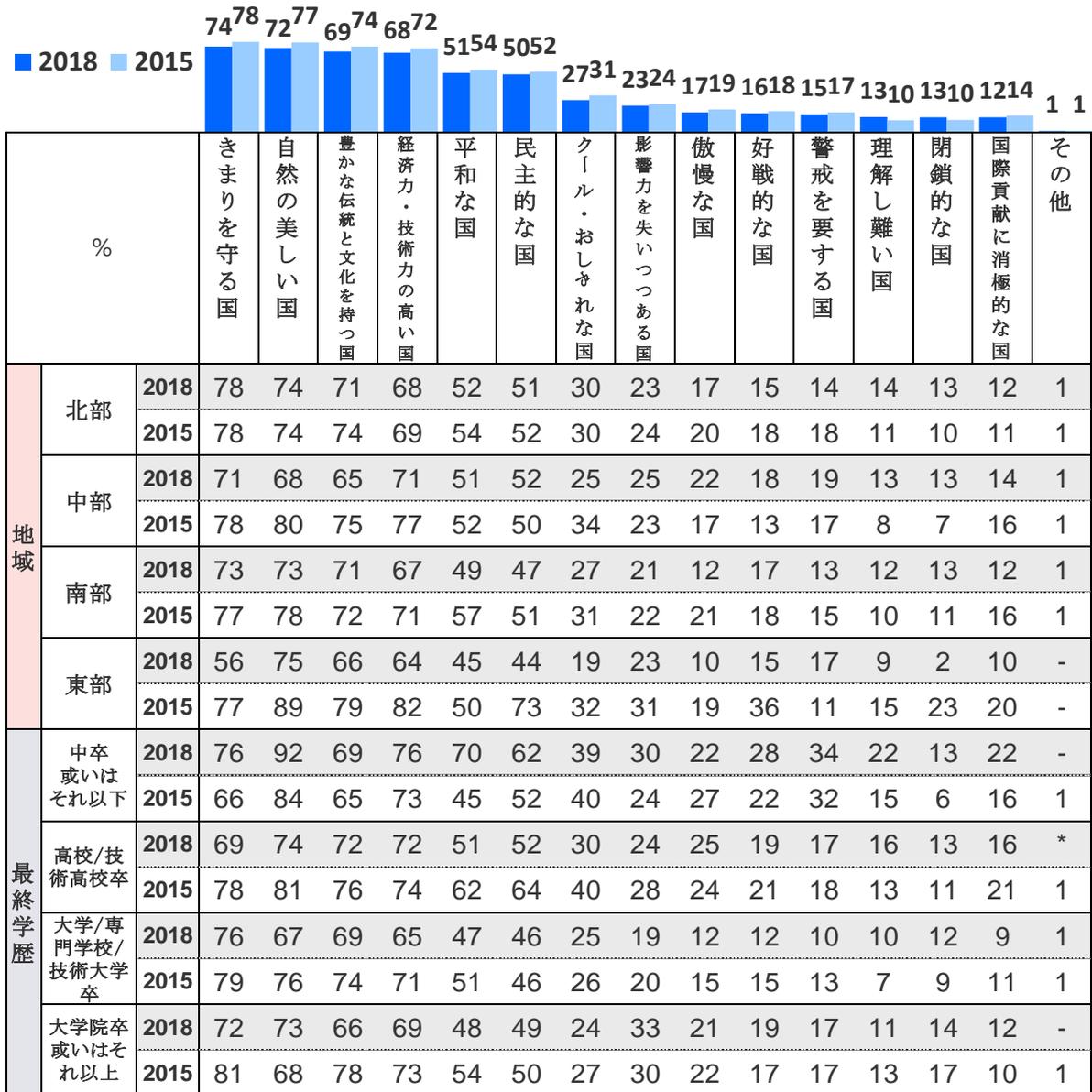
Q5: 日本のどの分野に関心がありますか(複数回答可)。

※「食文化」は 2018 年度追加した選択肢。



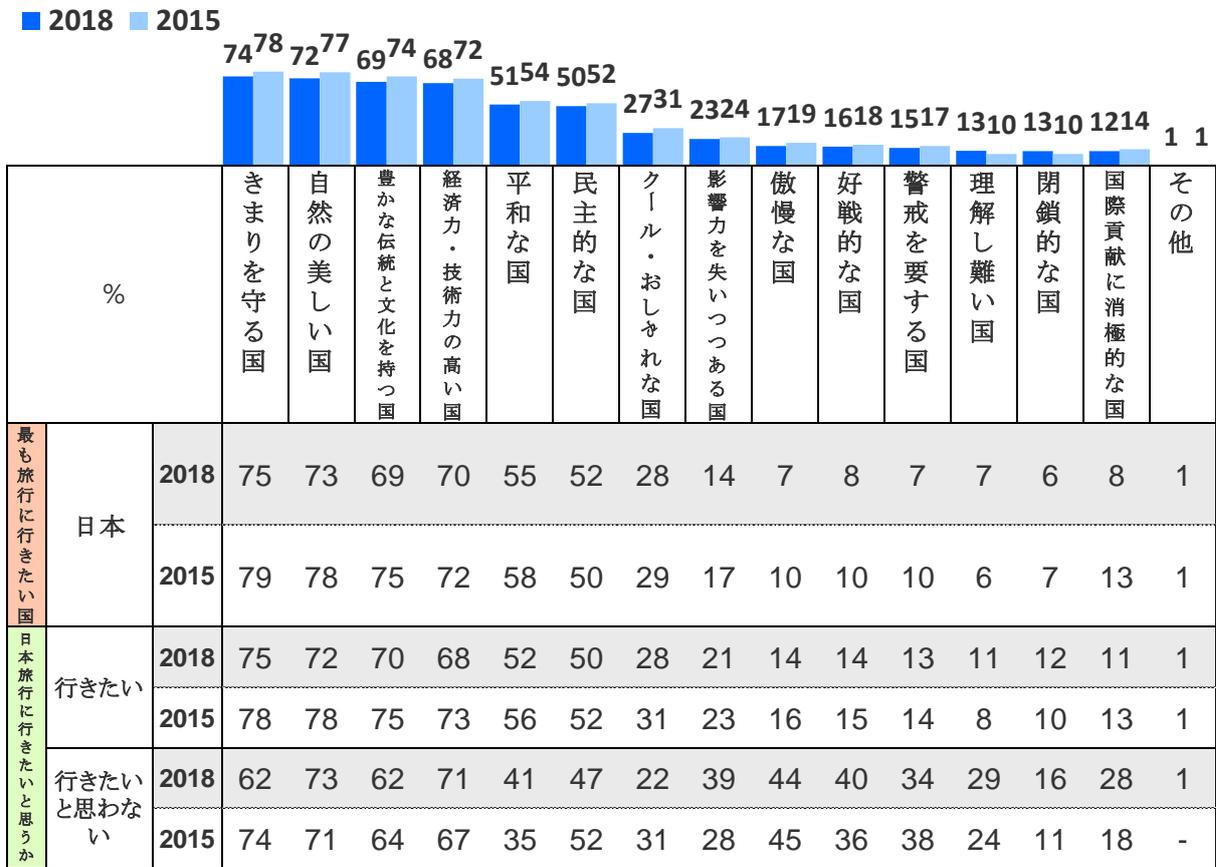
Q6: 日本に対してどのようなイメージを持っていますか(複数回答可)。

※2018年度の選択肢「理解し難い国」は、2015年度の「不可解な国」。



Q6: 日本に対してどのようなイメージを持っていますか(複数回答可)。

※2018年度の選択肢「理解し難い国」は、2015年度の「不可解な国」。



Q7:海外旅行をするとした場合、どこへ行きたいですか(一つ選択)。

※「香港・マカオ」「カナダ」は、2018年度追加した選択肢。また、「アメリカ・カナダ」(2015年度は「アメリカ」のみ)、「オーストラリア・ニュージーランド」と選択肢を統合。

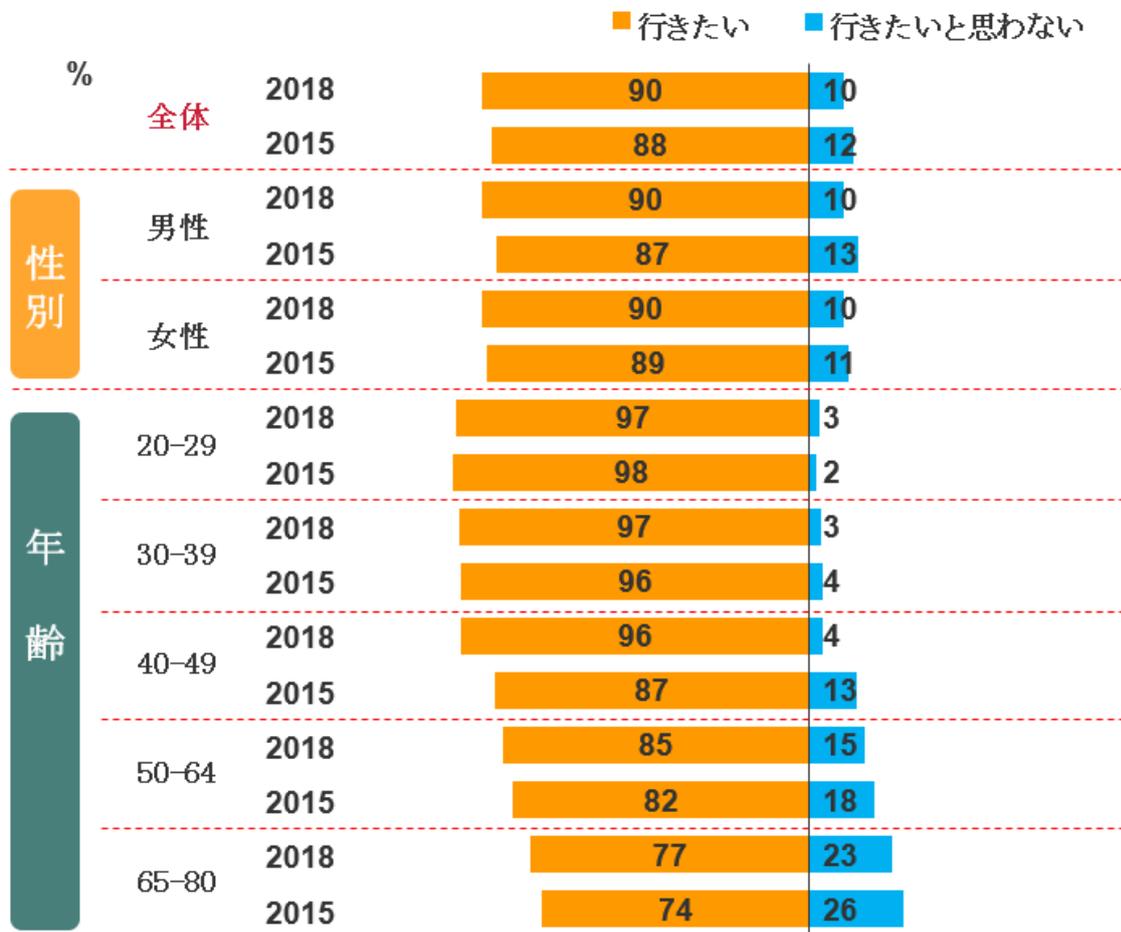


Q7:海外旅行をするとした場合、どこへ行きたいですか(一つ選択)。

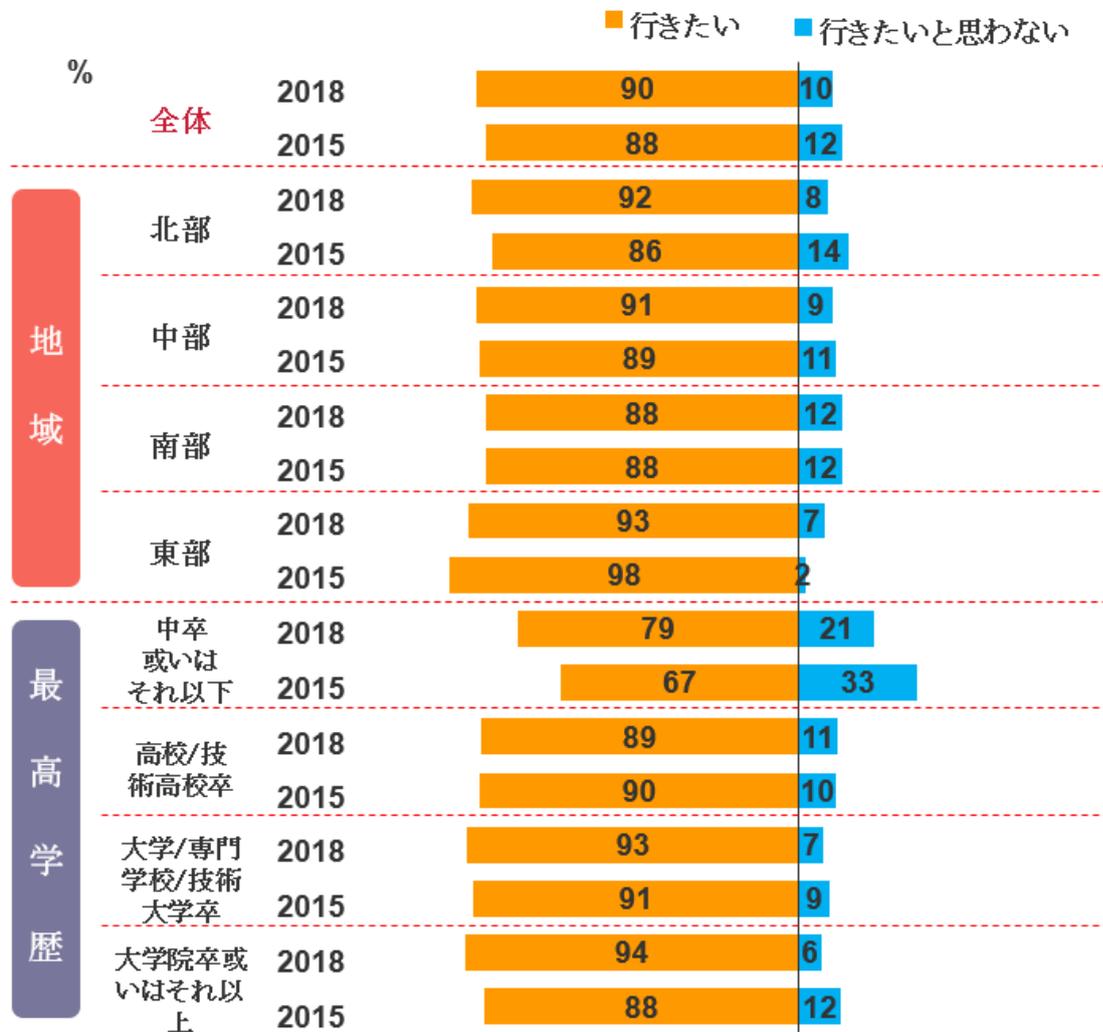
※「香港・マカオ」「カナダ」は、2018年度追加した選択肢。また、「アメリカ・カナダ」(2015年度は「アメリカ」のみ)、「オーストラリア・ニュージーランド」と選択肢を統合。



Q8: 日本へ旅行に行きたいと思えますか(一つ選択)。

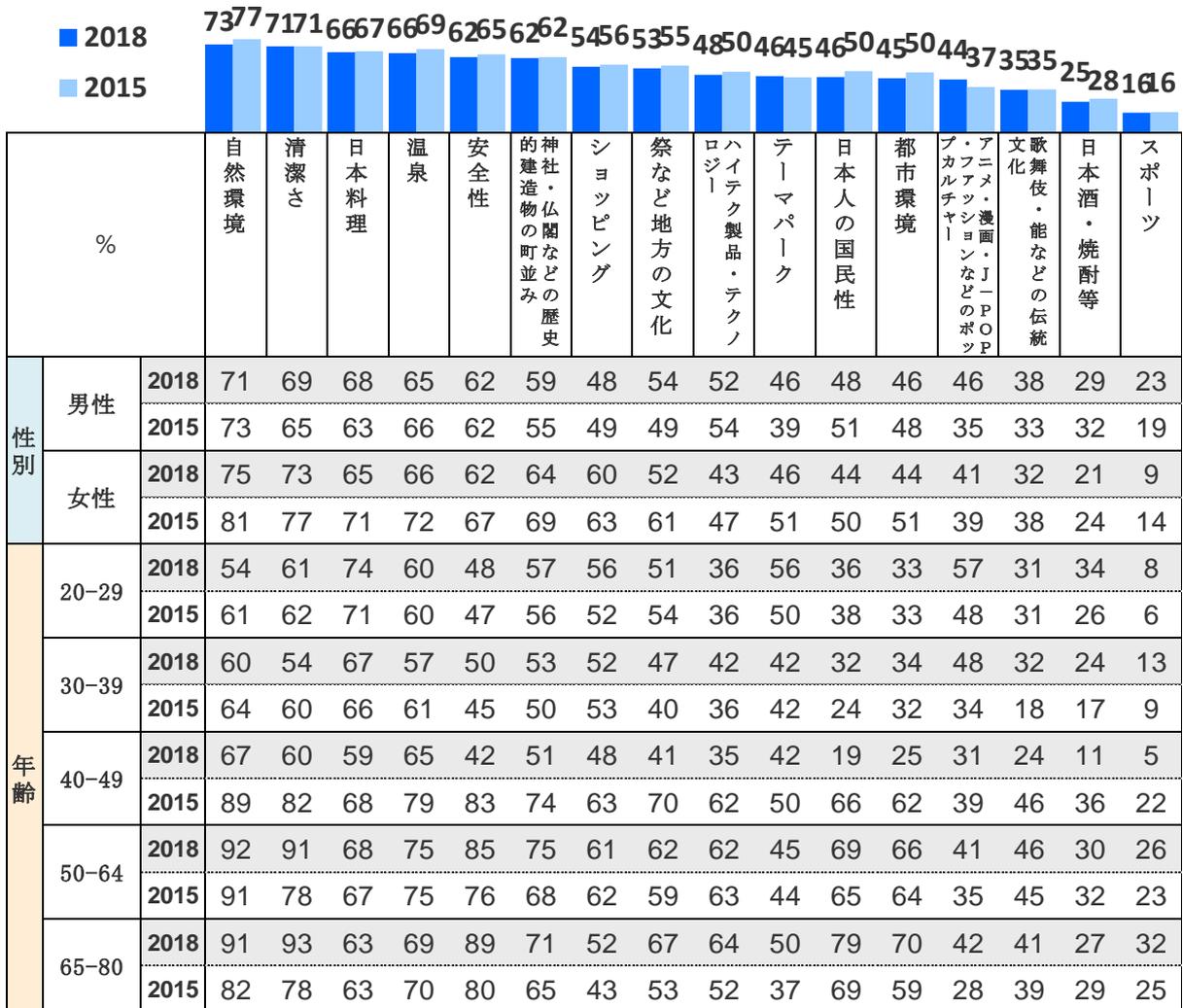


Q8: 日本へ旅行に行きたいと思えますか(一つ選択)。



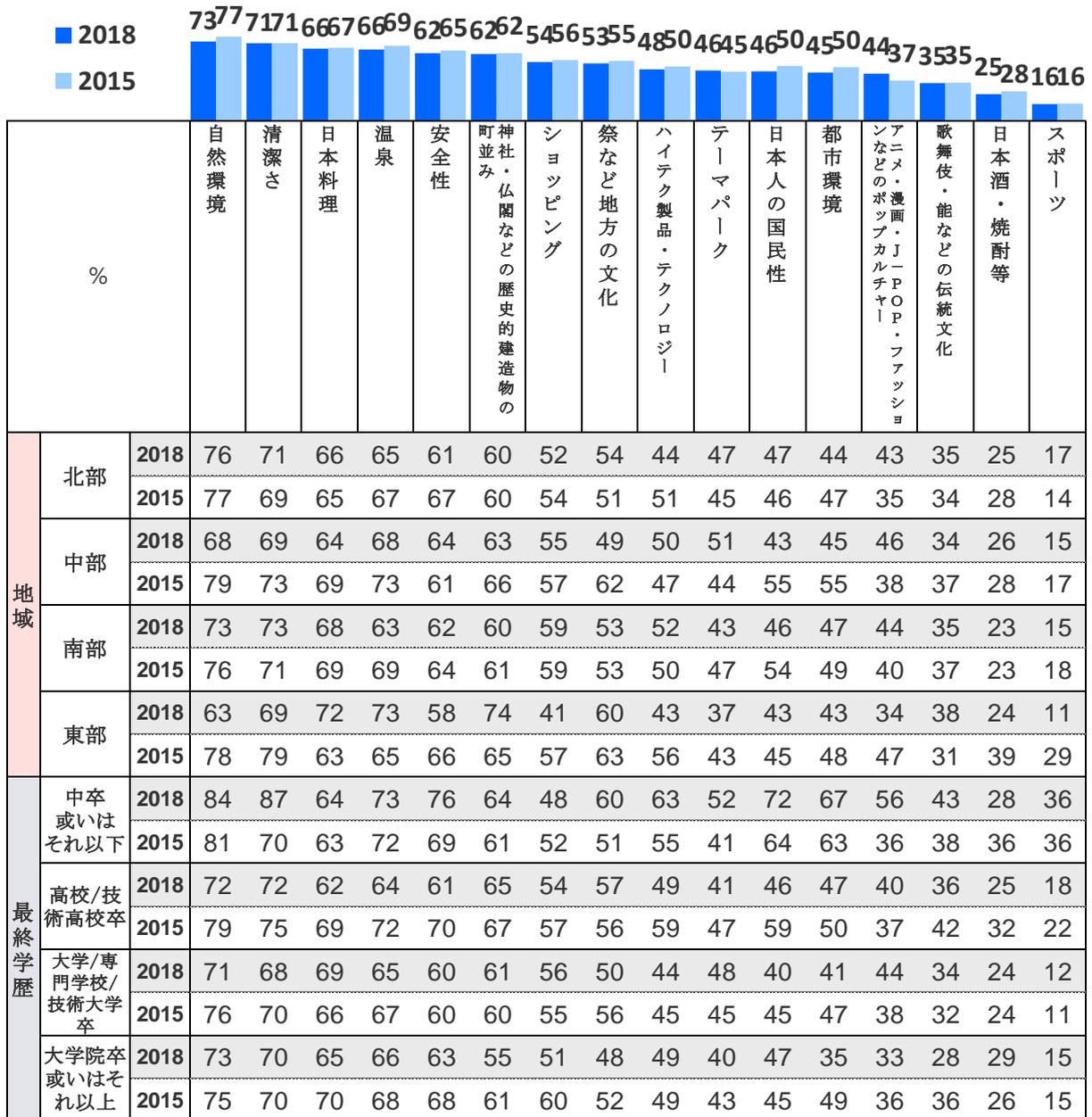
Q9:日本に旅行するとしたら、どこに魅力を感じますか(複数回答可)。

※Q8 で「行きたい」と答えた方のみ。



Q9:日本に旅行するとしたら、どこに魅力を感じますか(複数回答可)。

※Q8 で「行きたい」と答えた方のみ。



Q10:あなたは日本に関する情報を主にどこから得ていますか(一つ選択)。

※2018年度の選択肢、「ビデオ、DVD」「台湾の友人」「日本の友人」は、2015年度調査の「ビデオ、VCD、DVD」「台湾の友人・知人」「日本の友人・知人」。

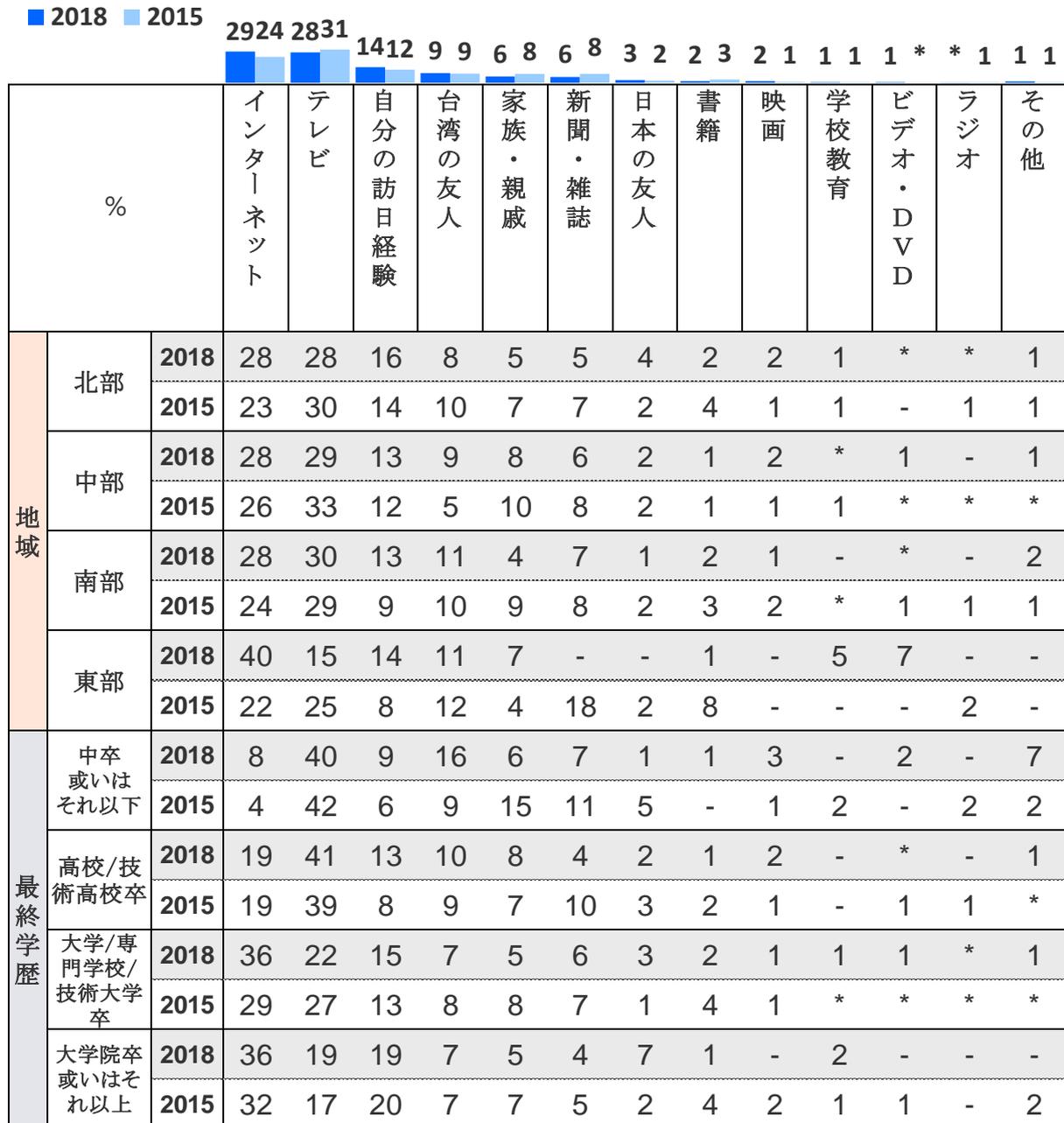
■ 2018 ■ 2015

2924 2831 1412 9 9 6 8 6 8 3 2 2 3 2 1 1 1 1 * * 1 1 1

			インターネット	テレビ	自分の訪日経験	台湾の友人	家族・親戚	新聞・雑誌	日本の友人	書籍	映画	学校教育	ビデオ・DVD	ラジオ	その他
性別	男性	2018	31	26	13	10	5	6	2	1	2	1	*	*	1
		2015	25	32	12	9	5	9	3	2	1	1	1	*	1
	女性	2018	26	30	15	8	7	5	3	2	1	1	1	-	1
		2015	23	29	12	8	11	7	2	4	1	*	*	1	1
年齢	20-29	2018	46	18	14	9	3	2	4	1	1	2	1	-	-
		2015	38	23	10	12	6	5	1	3	1	1	-	*	*
	30-39	2018	41	18	17	10	2	2	3	3	3	*	*	-	-
		2015	28	28	16	9	8	5	2	3	1	*	1	-	-
	40-49	2018	28	30	18	9	4	5	2	2	*	1	1	-	*
		2015	23	36	12	9	7	7	*	3	1	-	*	1	1
	50-64	2018	20	36	11	8	10	7	2	1	2	*	1	*	2
		2015	19	37	10	7	8	10	5	3	-	-	-	1	*
	65-80	2018	9	34	14	11	10	13	2	1	1	-	-	-	5
		2015	10	24	14	7	15	17	3	3	1	3	-	-	2

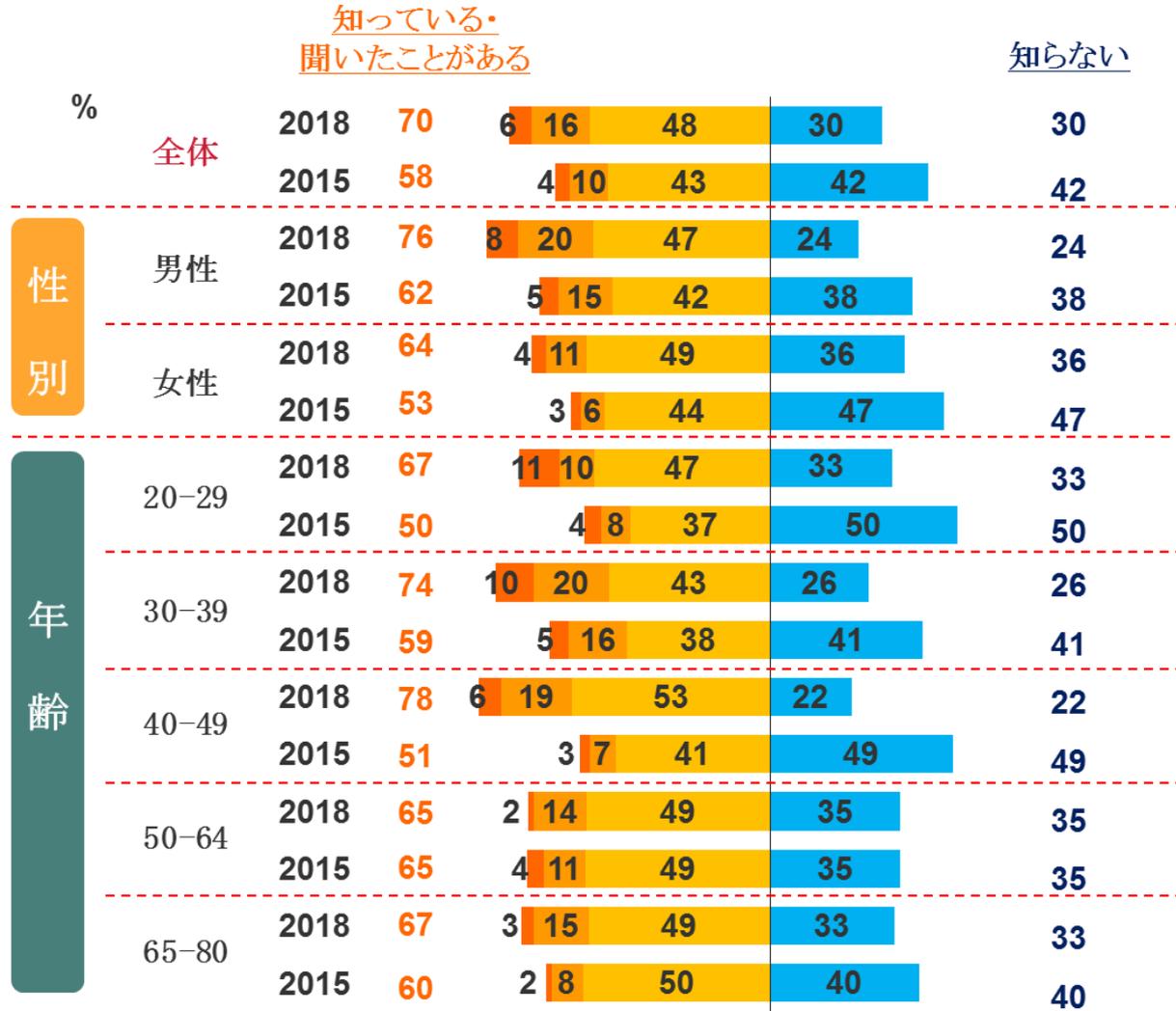
Q10:あなたは日本に関する情報を主にどこから得ていますか(一つ選択)。

※2018年度の選択肢、「ビデオ、DVD」「台湾の友人」「日本の友人」は、2015年度調査の「ビデオ、VCD、DVD」「台湾の友人・知人」「日本の友人・知人」。



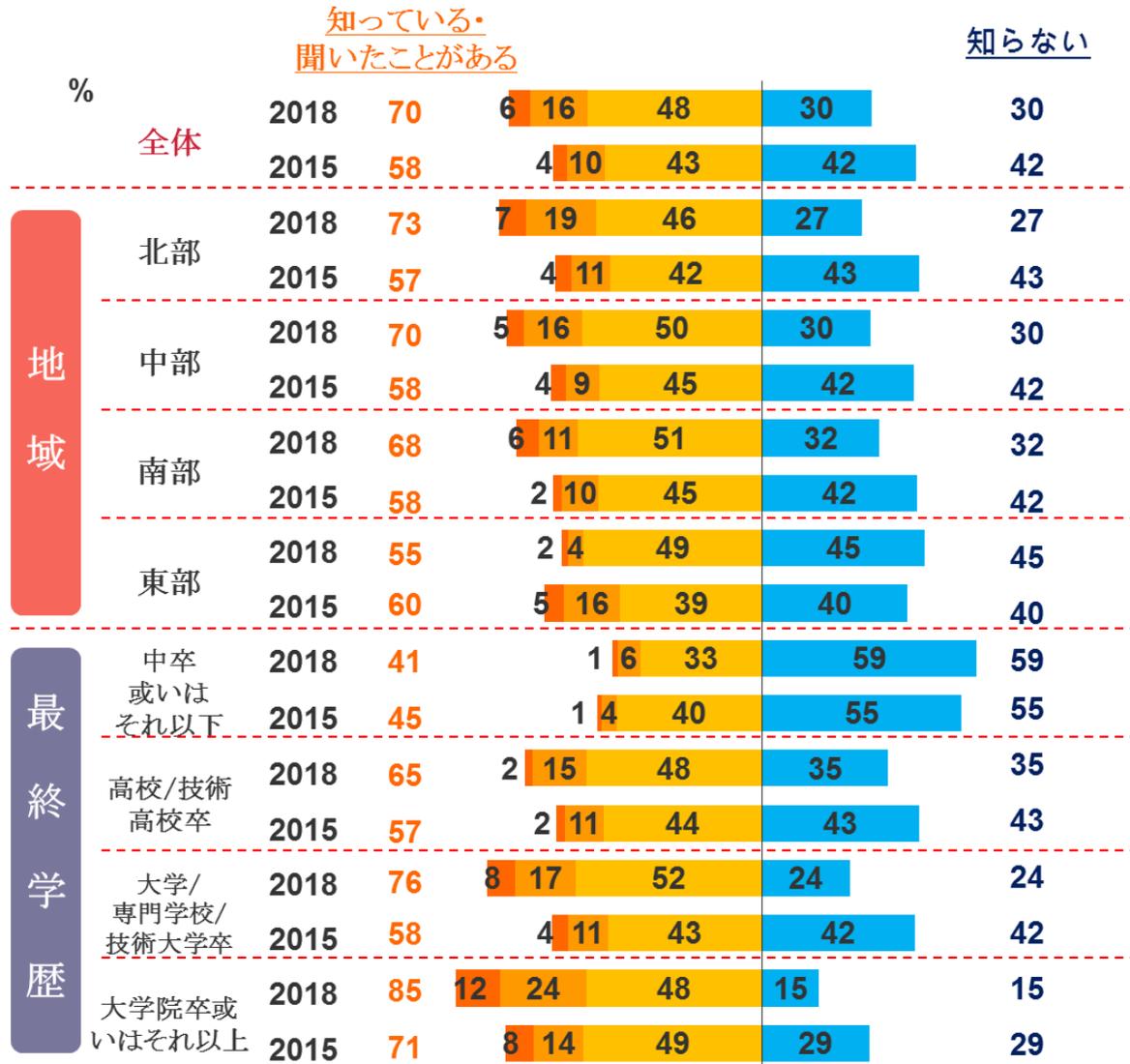
Q11: 日台交流における日本側の窓口機関である(公益財団法人)日本台湾交流協会を知っていますか(一つ選択)。

■ よく知っている ■ 知っている ■ 聞いたことはあるがよく知らない ■ 知らない



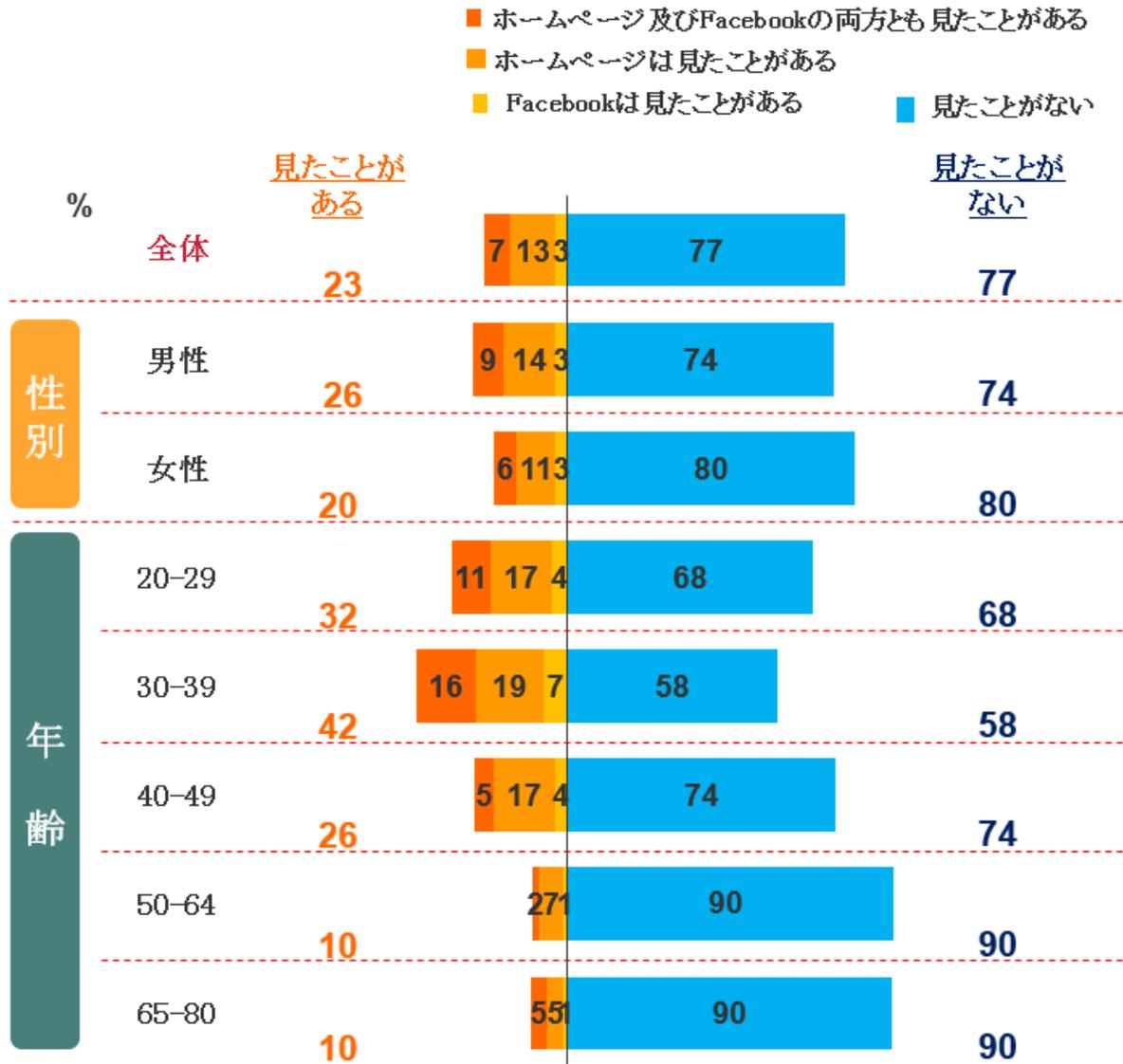
Q11: 日台交流における日本側の窓口機関である(公益財団法人)日本台湾交流協会を知っていますか(一つ選択)。

よく知っている 知っている 聞いたことはあるがよく知らない 知らない



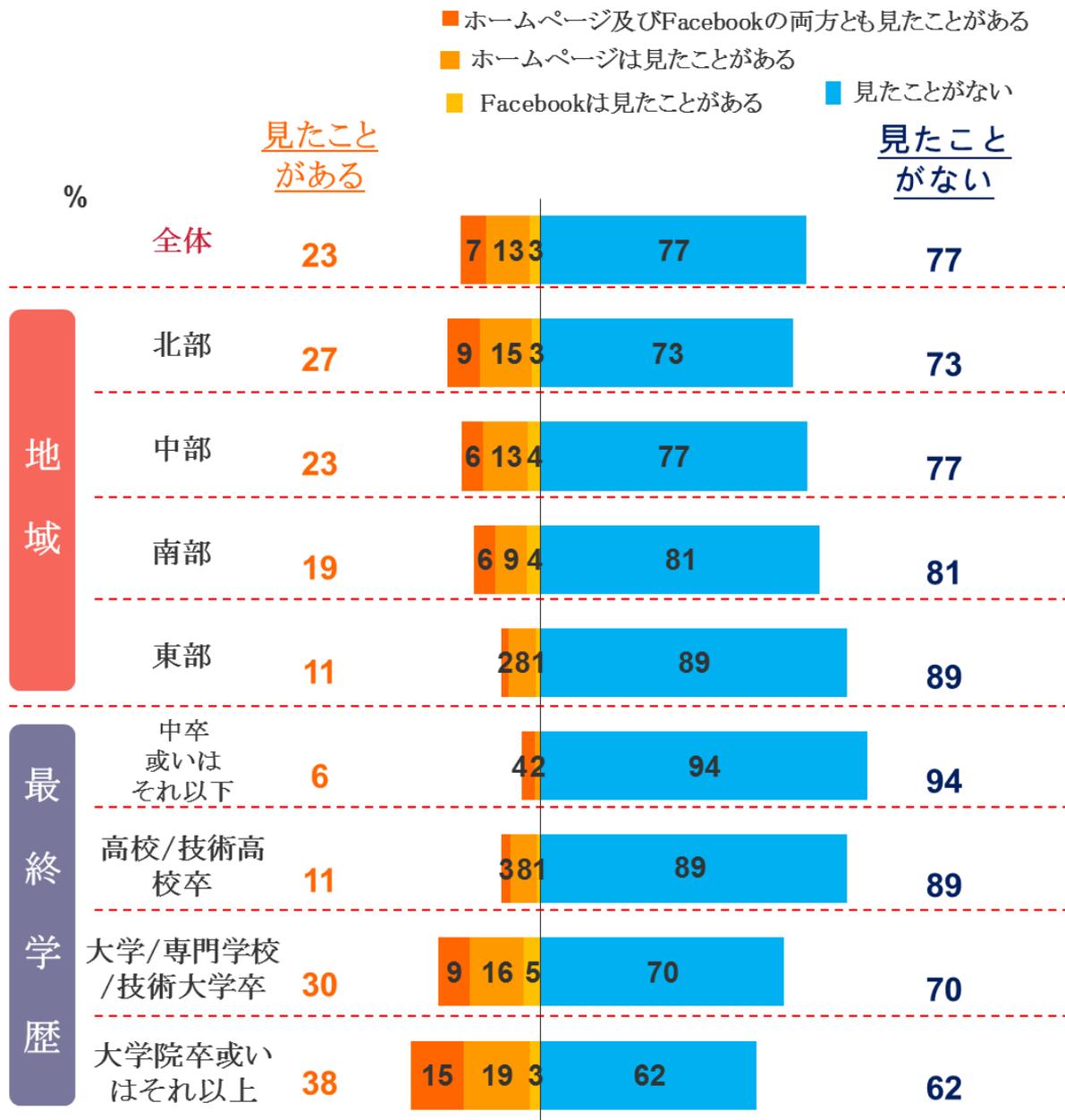
Q12: 日本台湾交流協会のホームページまたは Facebook を見たことがありますか？ (一つ選択)

※2018 年度新たに追加した設問。



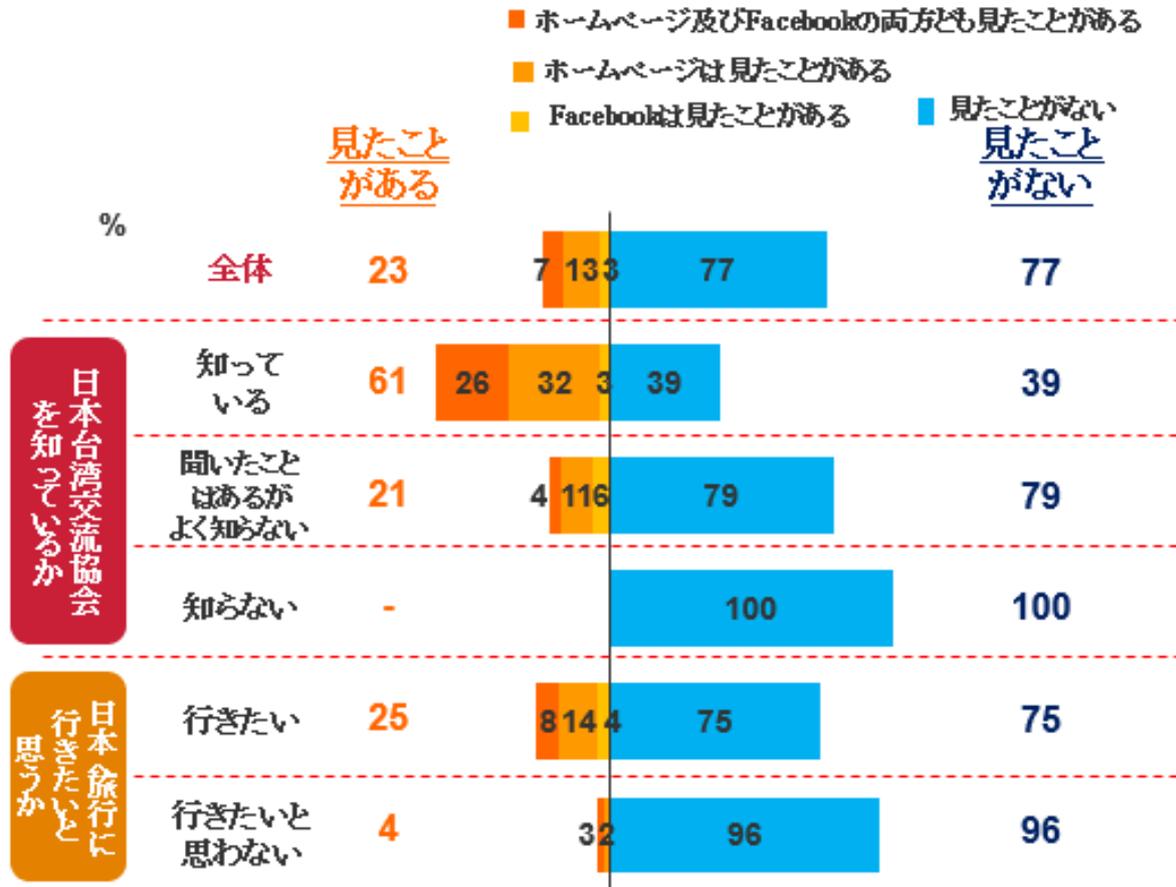
Q12: 日本台湾交流協会のホームページまたは Facebook を見たことがありますか？ (一つ選択)

※2018 年度新たに追加した設問。

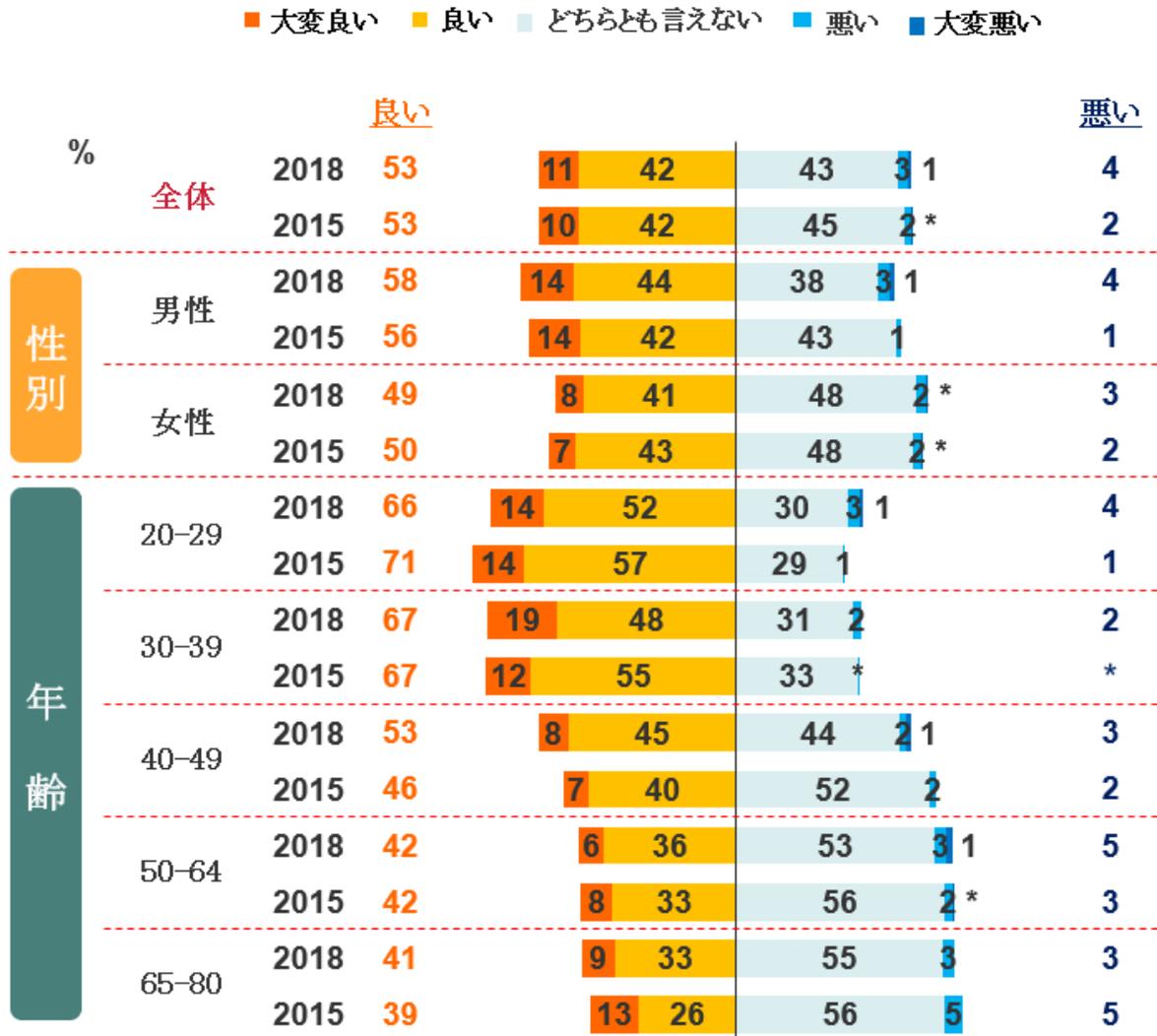


Q12: 日本台湾交流協会のホームページまたは Facebook を見たことがありますか？ (一つ選択)

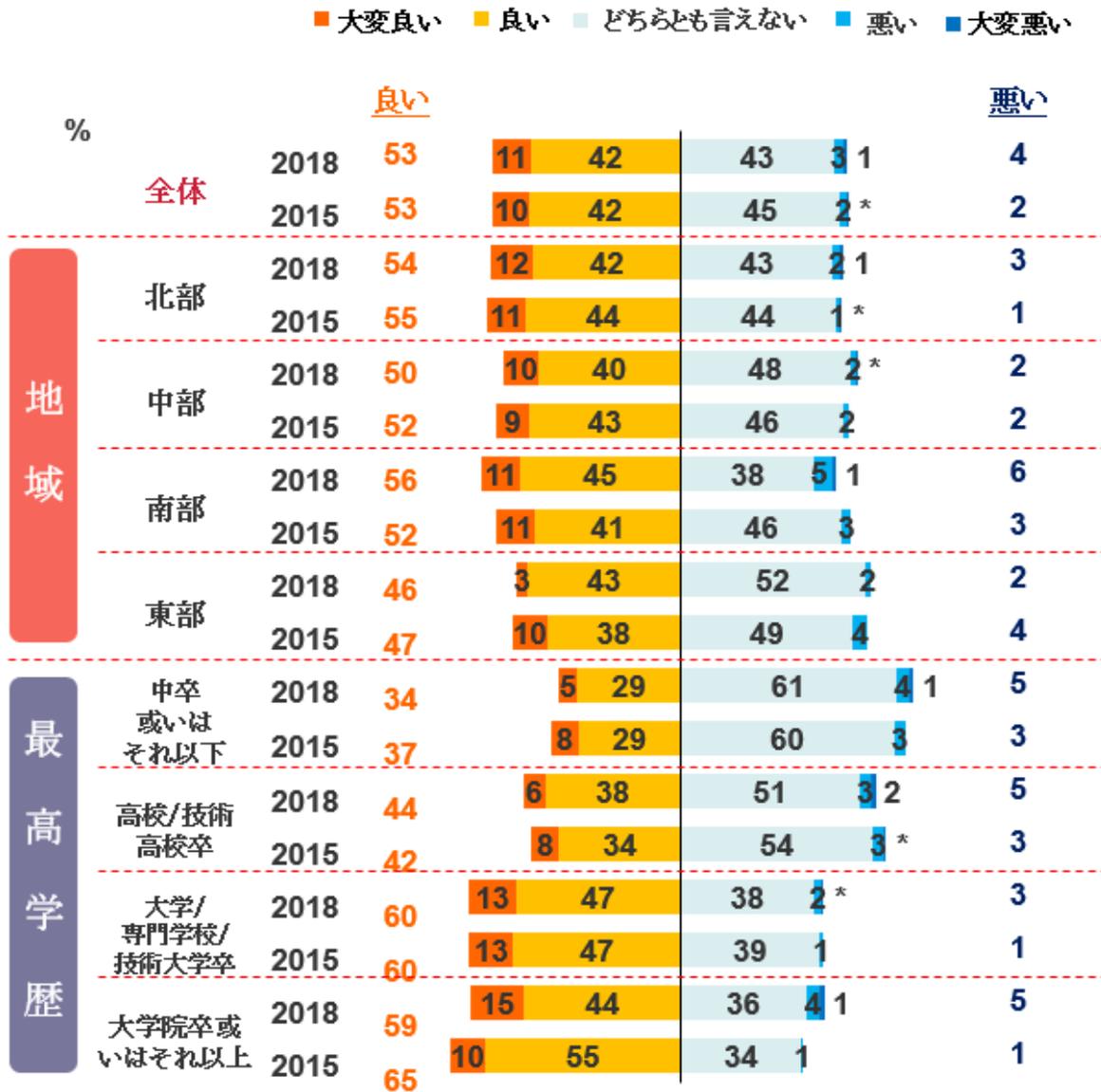
※2018 年度新たに追加した設問。



Q13:現在の日台関係をどう思いますか(一つ選択)。

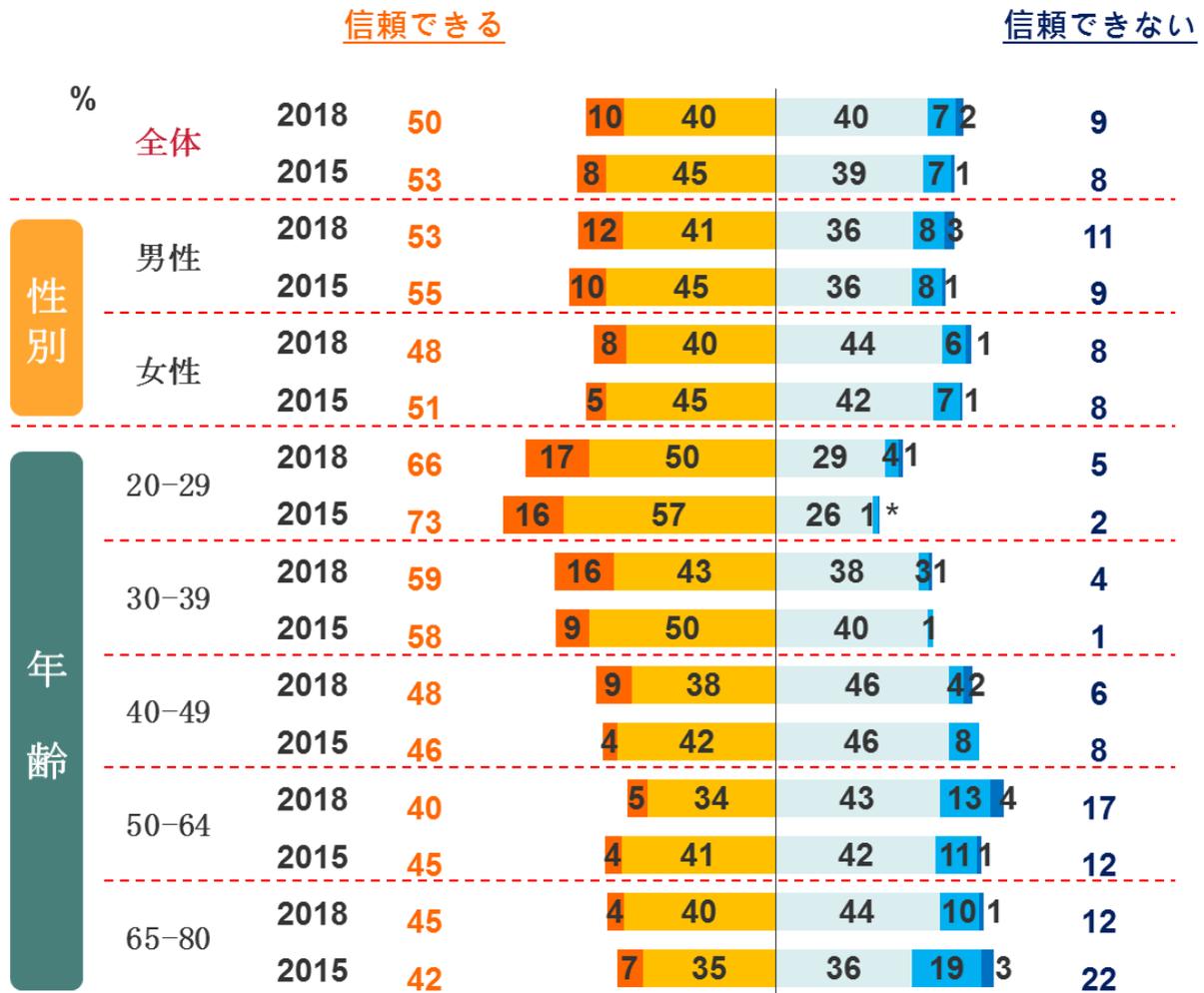


Q13:現在の日台関係をどう思いますか(一つ選択)。



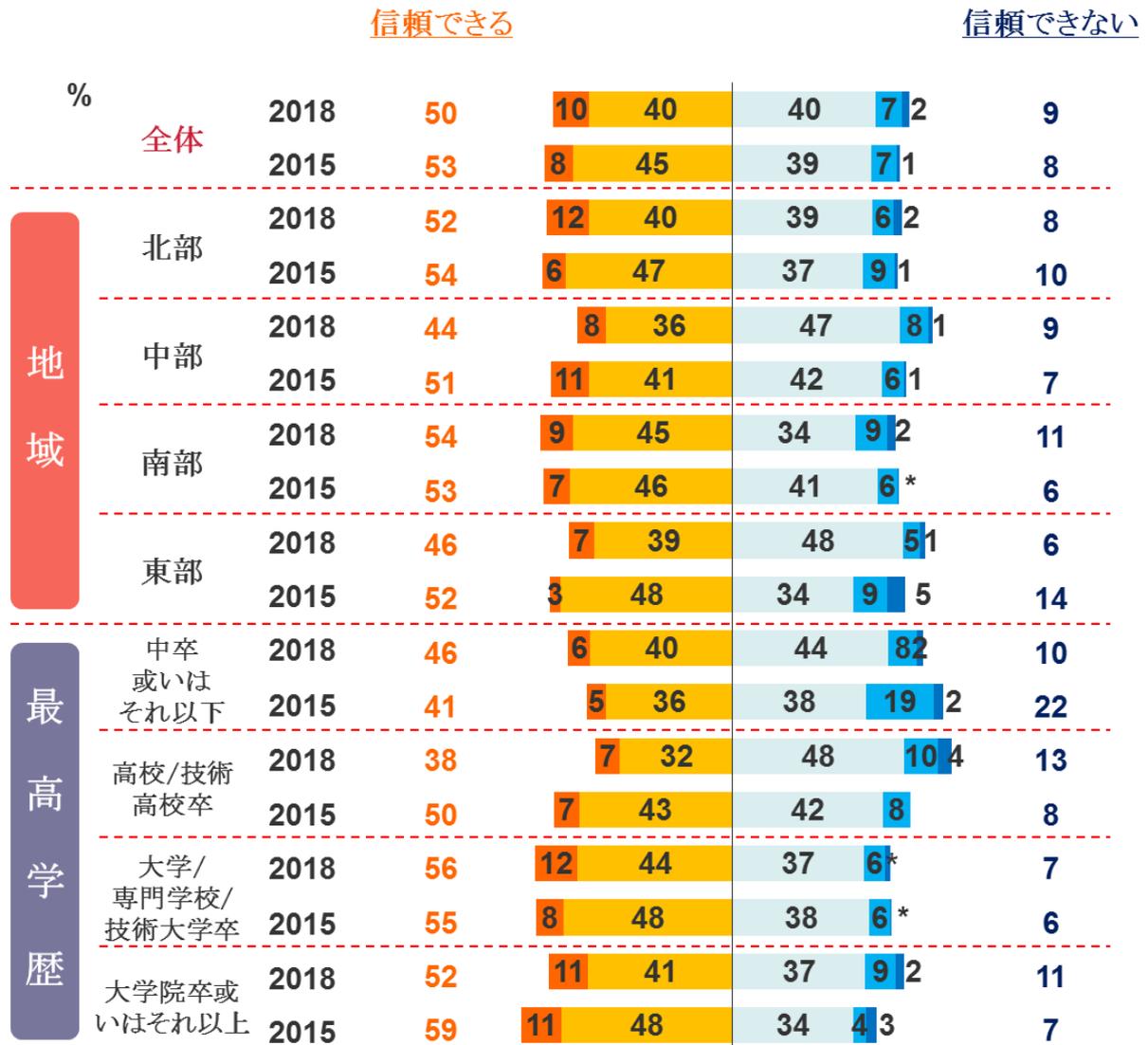
Q14: 日本は信頼できる国と考えますか(一つ選択)。

- 非常に信頼できる
- 信頼できる
- どちらとも言えない
- 信頼できない
- 非常に信頼できない



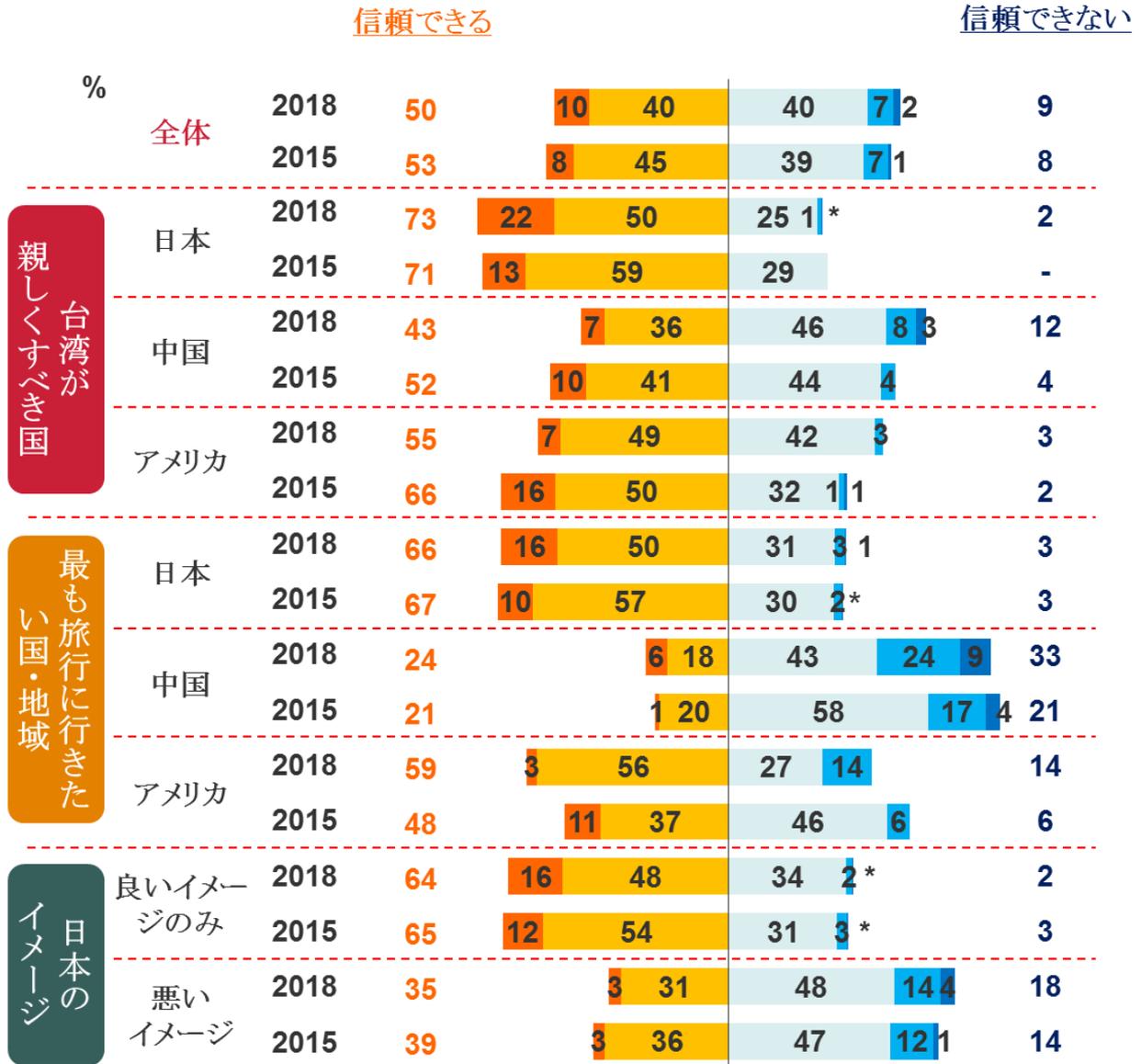
Q14: 日本は信頼できる国と考えますか(一つ選択)。

- 非常に信頼できる
- 信頼できる
- どちらとも言えない
- 信頼できない
- 非常に信頼できない



Q14: 日本は信頼できる国と考えますか(一つ選択)。

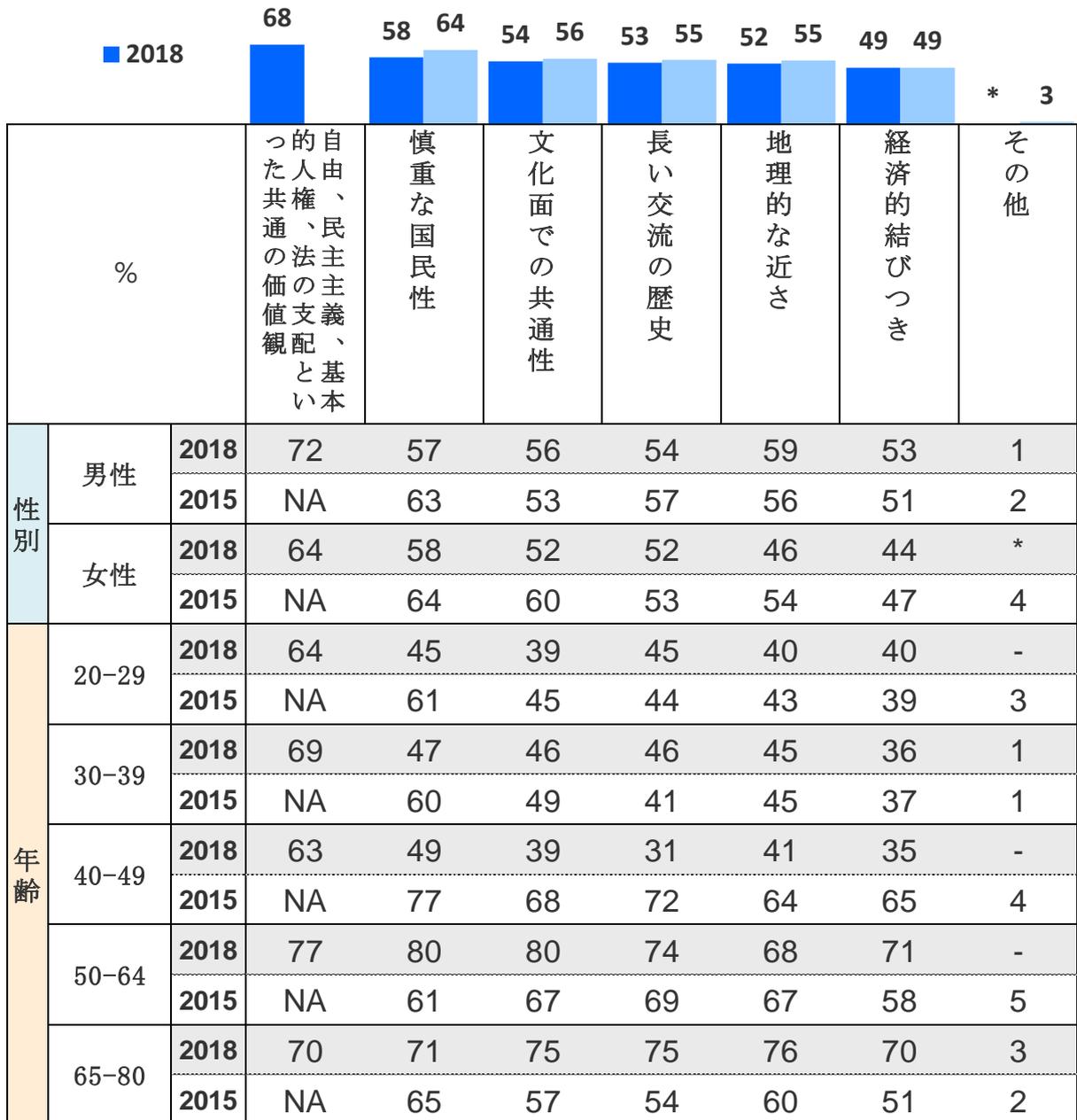
■ 非常に信頼できる ■ 信頼できる ■ どちらとも言えない
■ 信頼できない ■ 非常に信頼できない



Q15:なぜ日本は(非常に)信頼できる国であると考えますか(複数回答可)。

※Q14 の設問で「非常に信頼できる」、また「信頼できる」と回答した方のみ。

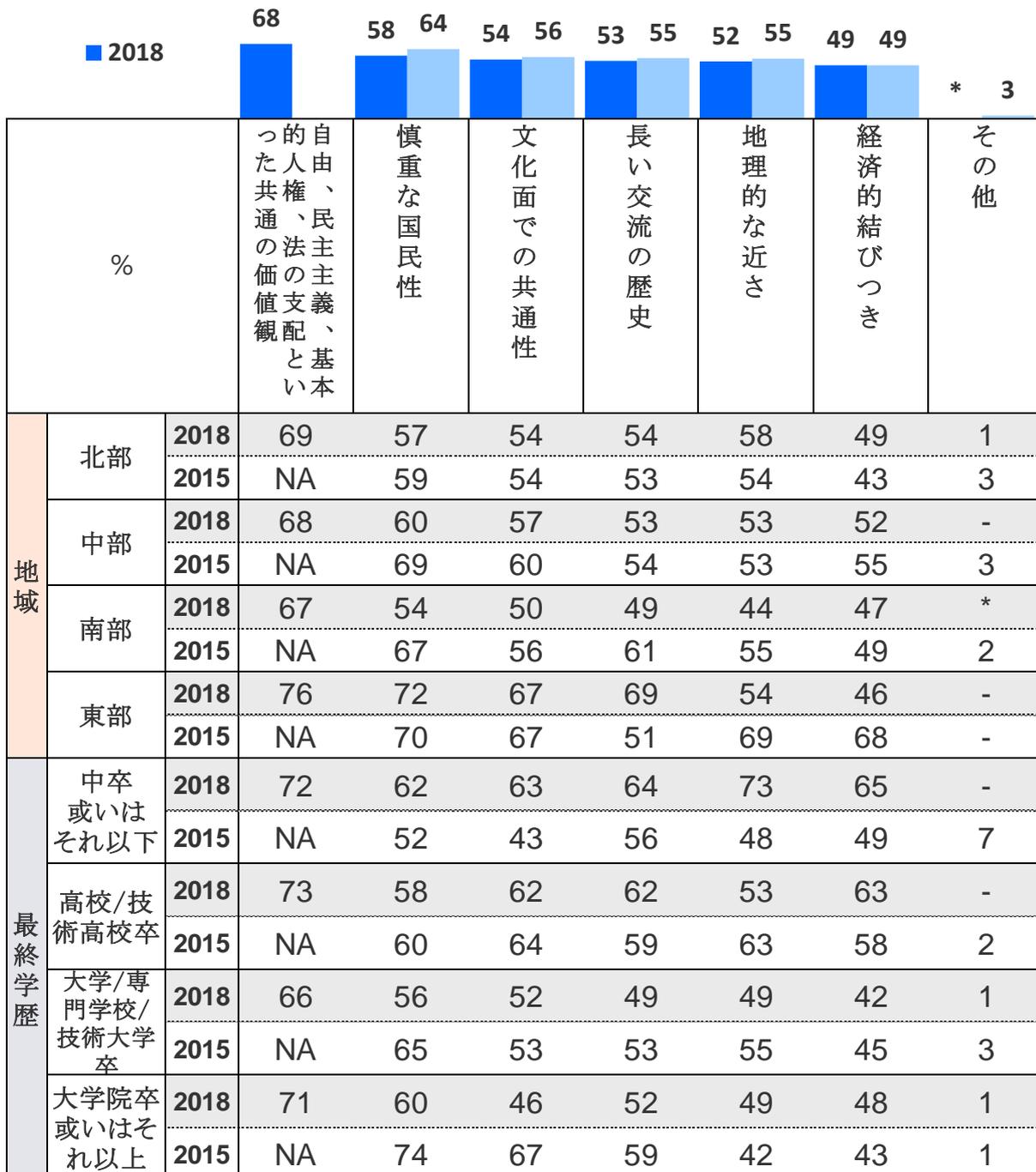
※「自由、民主主義、基本的人権、法治等共通した価値観」は、2018 年度追加した選択肢。



Q15:なぜ日本は(非常に)信頼できる国であると考えますか(複数回答可)。

※Q14 の設問で「非常に信頼できる」、また「信頼できる」と回答した方のみ。

※「自由、民主主義、基本的人権、法治等共通した価値観」は、2018 年度追加した選択肢。



Q16:なぜ日本は(非常に)信頼できない国であると考えますか(複数回答可)。

※Q14 の設問で「非常に信頼できない」、また「信頼できない」と回答した方のみ。

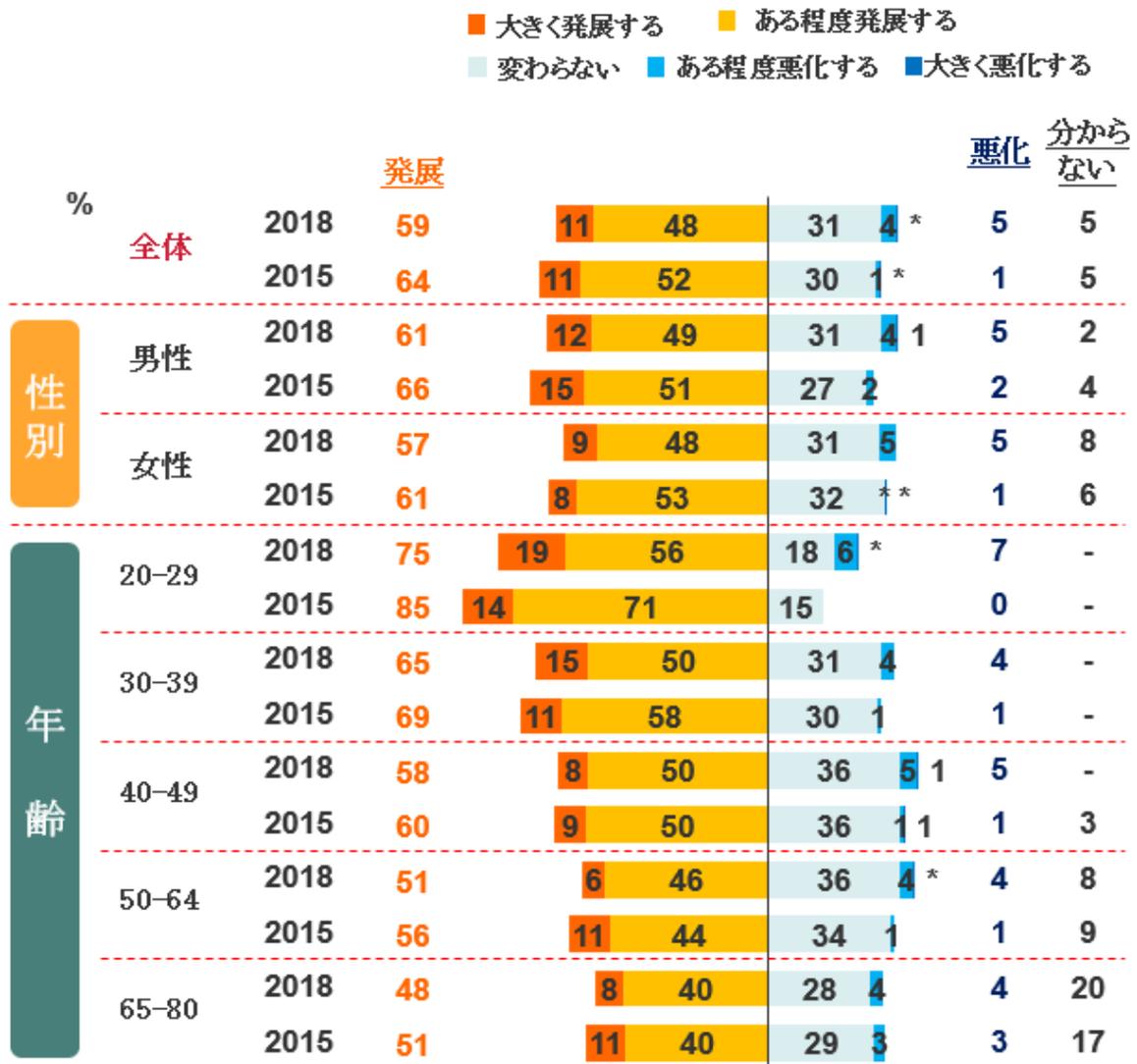


Q16:なぜ日本は(非常に)信頼できない国であると考えますか(複数回答可)。

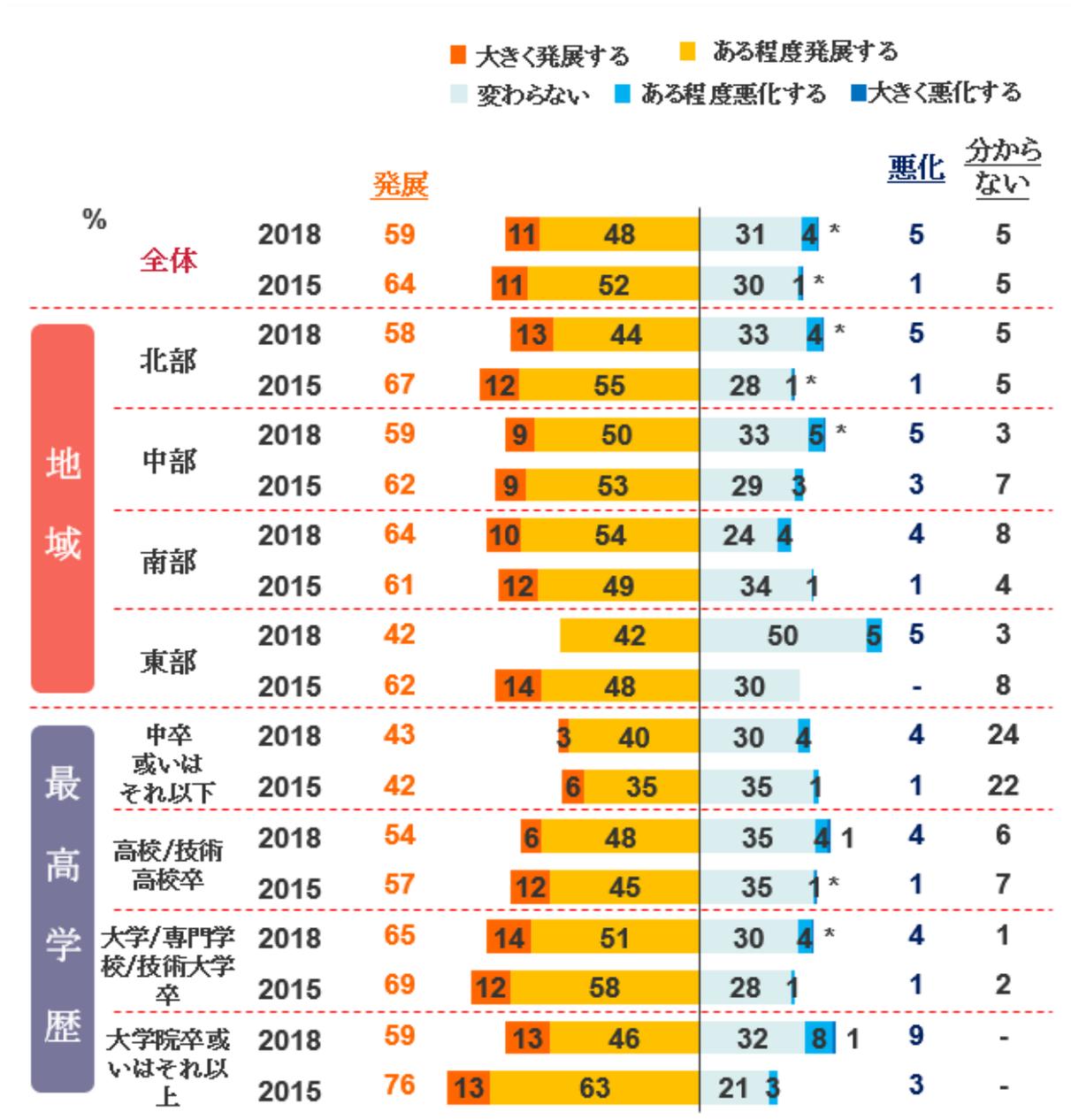
※Q14 の設問で「非常に信頼できない」、また「信頼できない」と回答した方のみ。



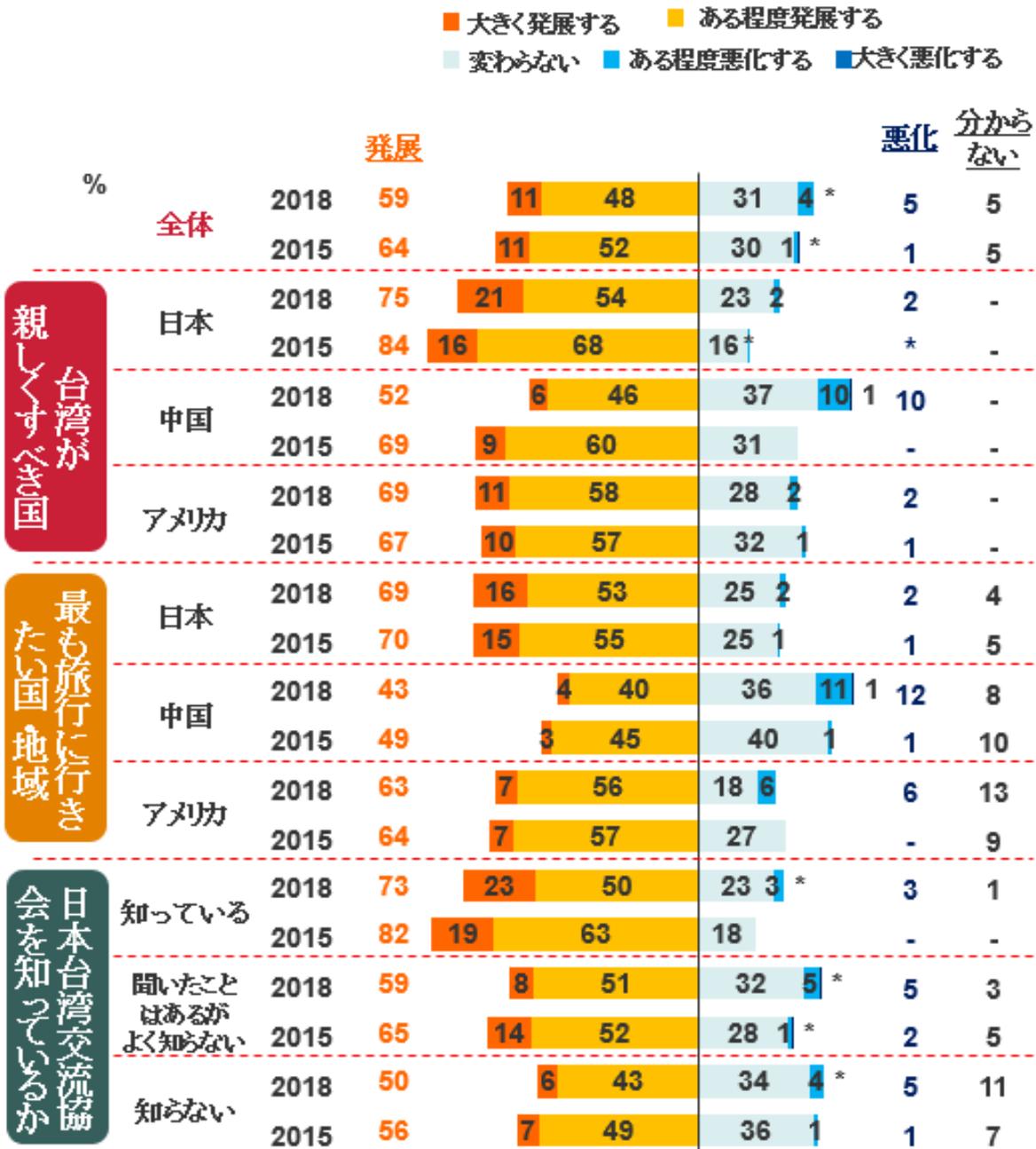
Q17:日本と台湾の関係は将来どうなると考えますか(一つ選択)。



Q17:日本と台湾の関係は将来どうなると考えますか(一つ選択)。



Q17:日本と台湾の関係は将来どうなると考えますか(一つ選択)。



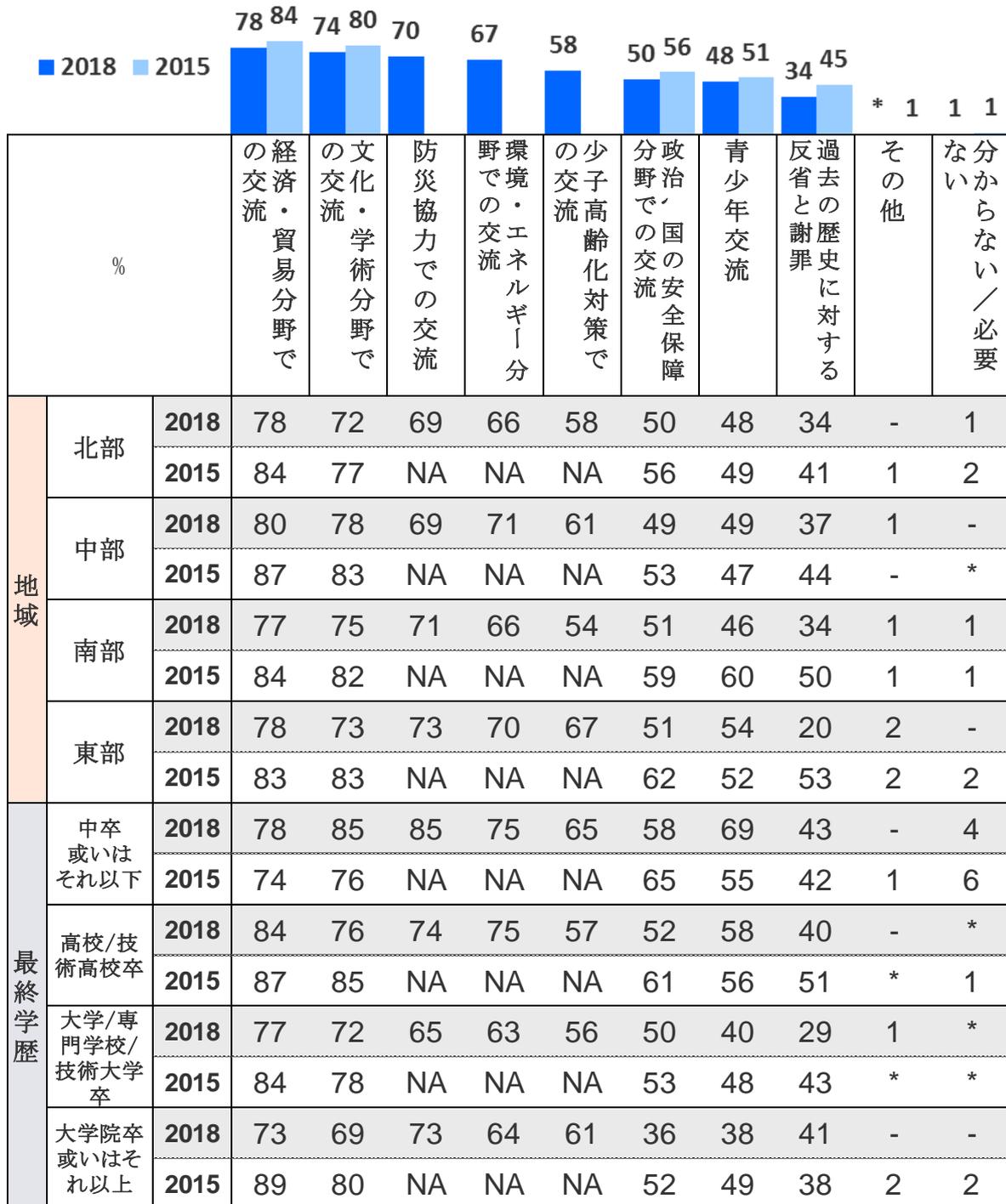
Q18:日台関係発展のため、どの分野に積極的に取り組むべきと考えますか
(複数回答可)。

※2018年度、選択肢「環境・エネルギー分野での交流」「少子高齢化対策での交流」「防災協力での交流」を追加、また「文化・学術分野での交流」と選択肢を統合。



Q18:日台関係発展のため、どの分野に積極的に取り組むべきと考えますか
(複数回答可)。

※2018年度、選択肢「環境・エネルギー分野での交流」「少子高齢化対策での交流」「防災協力での交流」を追加、また「文化・学術分野での交流」と選択肢を統合。

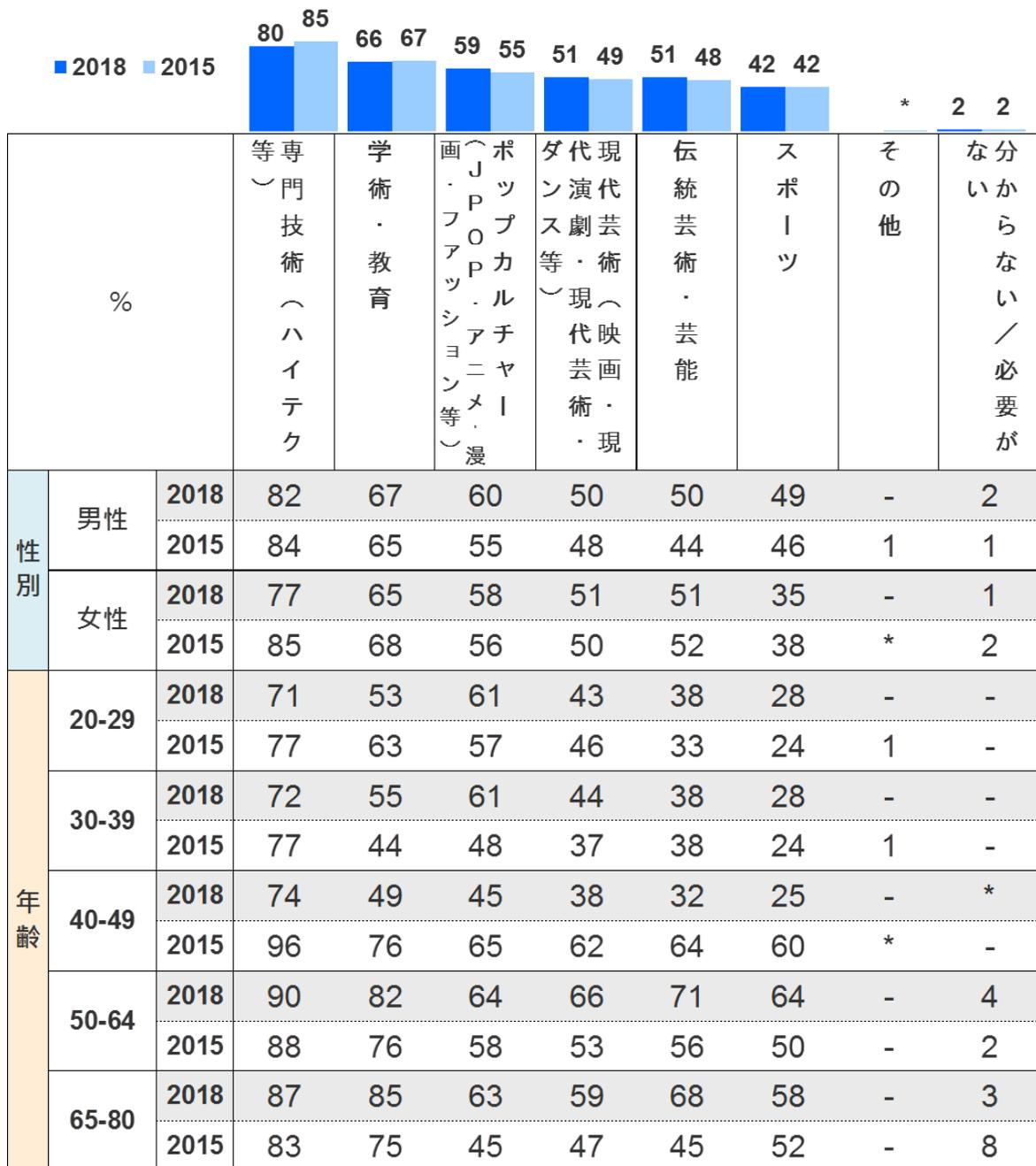


Q18:日台関係発展のため、どの分野に積極的に取り組むべきと考えますか
(複数回答可)。

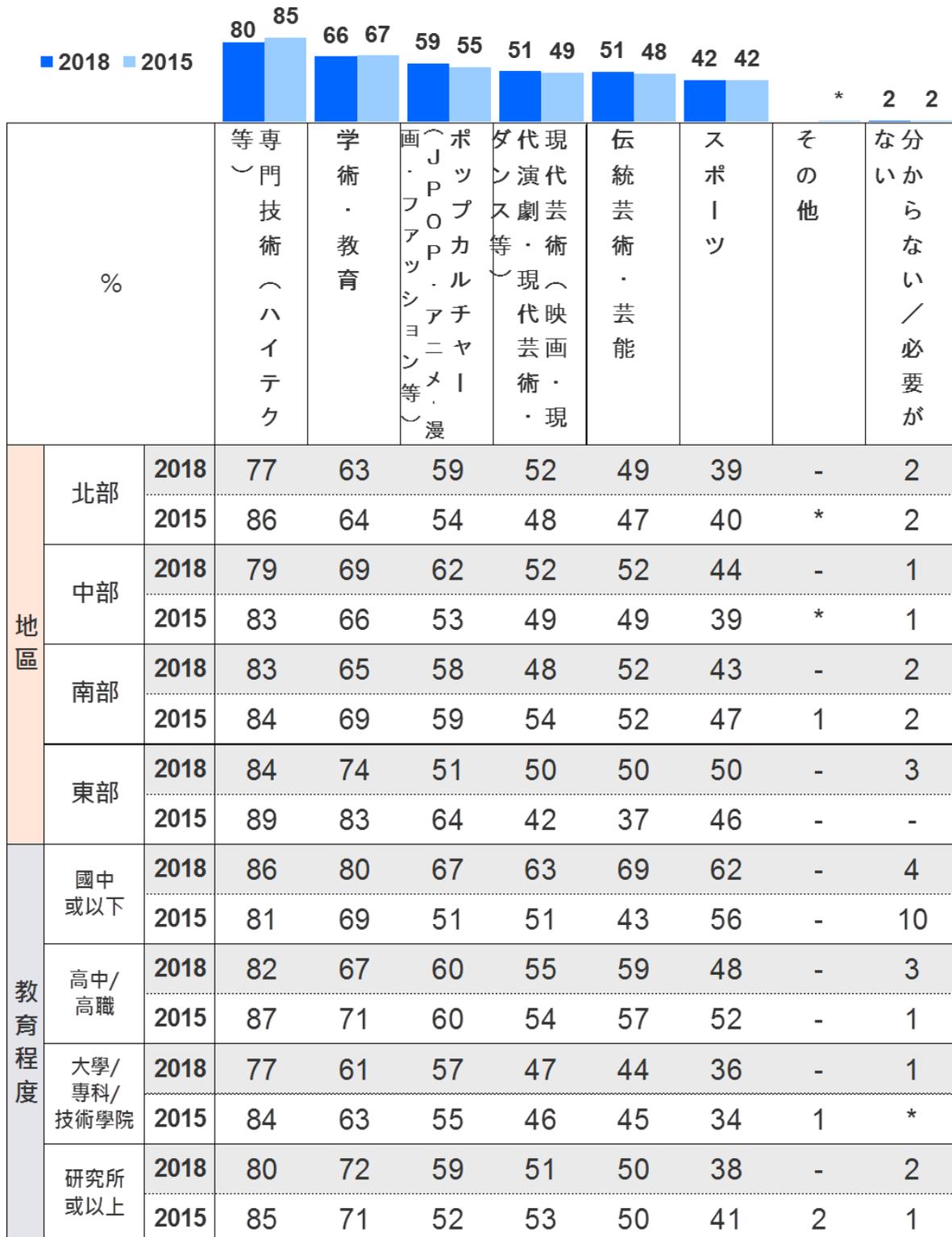
※2018年度、選択肢「環境・エネルギー分野での交流」「少子高齢化対策での交流」「防災協力での交流」を追加、また「文化・学術分野での交流」と選択肢を統合。



Q19:日台間の文化交流で、今後どの分野に積極的に取り組むべきと思いますか(複数回答可)。



Q19:日台間の文化交流で、今後どの分野に積極的に取り組むべきと思いますか(複数回答可)。



Q20: 日台青少年交流において、特に以下のどの分野を促進すべきと思いますか(複数回答可)。



Q20: 日台青少年交流において、特に以下のどの分野を促進すべきと思いますか(複数回答可)。



Q21:日台間で最も心配している案件は以下のどれですか(一つ選択)。

※2018年度の選択肢「歴史に由来する問題」、「貿易経済関係」は、2015年度の「歴史的経緯の問題」、「貿易摩擦」。

		■ 2018 ■ 2015		33	34	19	17	17	4	16	25	9	11	*	1	4	4	2	3
		%		日本と中国の関係	漁業問題	日本産食品問題	歴史に由来する問題	貿易経済関係	その他	分からない・言い難い	特にない								
性別	男性	2018	35	23	14	14	8	1	4	3									
		2015	34	19	3	24	11	1	4	3									
	女性	2018	32	15	19	18	10	*	4	1									
		2015	34	15	5	25	12	*	4	3									
年齢	20-29	2018	35	15	16	19	14	*	-	1									
		2015	38	19	4	25	12	-	*	-									
	30-39	2018	44	14	15	18	9	*	-	-									
		2015	37	20	4	30	8	-	-	-									
	40-49	2018	36	19	18	16	9	*	-	1									
		2015	33	18	4	25	10	*	3	6									
	50-64	2018	23	26	19	14	8	*	6	3									
		2015	31	17	5	23	13	1	5	5									
	65-80	2018	34	14	13	12	7	-	15	4									
		2015	32	12	4	19	12	2	14	5									

Q21:日台間で最も心配している案件は以下のどれですか(一つ選択)。

※2018年度の選択肢「歴史に由来する問題」、「貿易経済関係」は、2015年度の「歴史的経緯の問題」、「貿易摩擦」。

				33 34		19 17		17 4		16 25		9 11		* 1		4 4		2 3	
		■ 2018 ■ 2015																	
		%		係日本と中国の関		漁業問題		日本産食品問題		問題歴史に由来する		貿易経済関係		その他		い分 難から ない・言		特 に ない	
地域	北部	2018	33	18	19	15	9	*	4	2									
		2015	33	18	4	26	10	*	3	4									
	中部	2018	34	18	16	18	9	-	3	2									
		2015	38	17	4	24	10	1	4	2									
	南部	2018	34	20	14	15	10	1	5	2									
		2015	31	16	7	23	14	*	5	2									
東部	2018	26	22	17	11	18	-	4	1										
	2015	43	15	-	25	10	-	2	4										
最終学歴	中卒 或いは それ以下	2018	23	16	12	15	10	-	17	6									
		2015	22	11	7	18	14	1	20	7									
	高校/技 術高校卒	2018	24	23	24	16	8	1	4	1									
		2015	29	17	4	27	14	*	4	4									
	大学/専 門学校/ 技術大学 卒	2018	39	17	15	16	10	*	2	2									
		2015	38	18	5	25	11	1	1	1									
	大学院卒 或いはそ れ以上	2018	40	21	17	13	8	1	-	1									
		2015	42	19	2	24	4	-	3	4									

Q21:日台間で最も心配している案件は以下のどれですか(一つ選択)。

※2018年度の選択肢「歴史に由来する問題」、「貿易経済関係」は、2015年度の「歴史的経緯の問題」、「貿易摩擦」。

■ 2018 ■ 2015

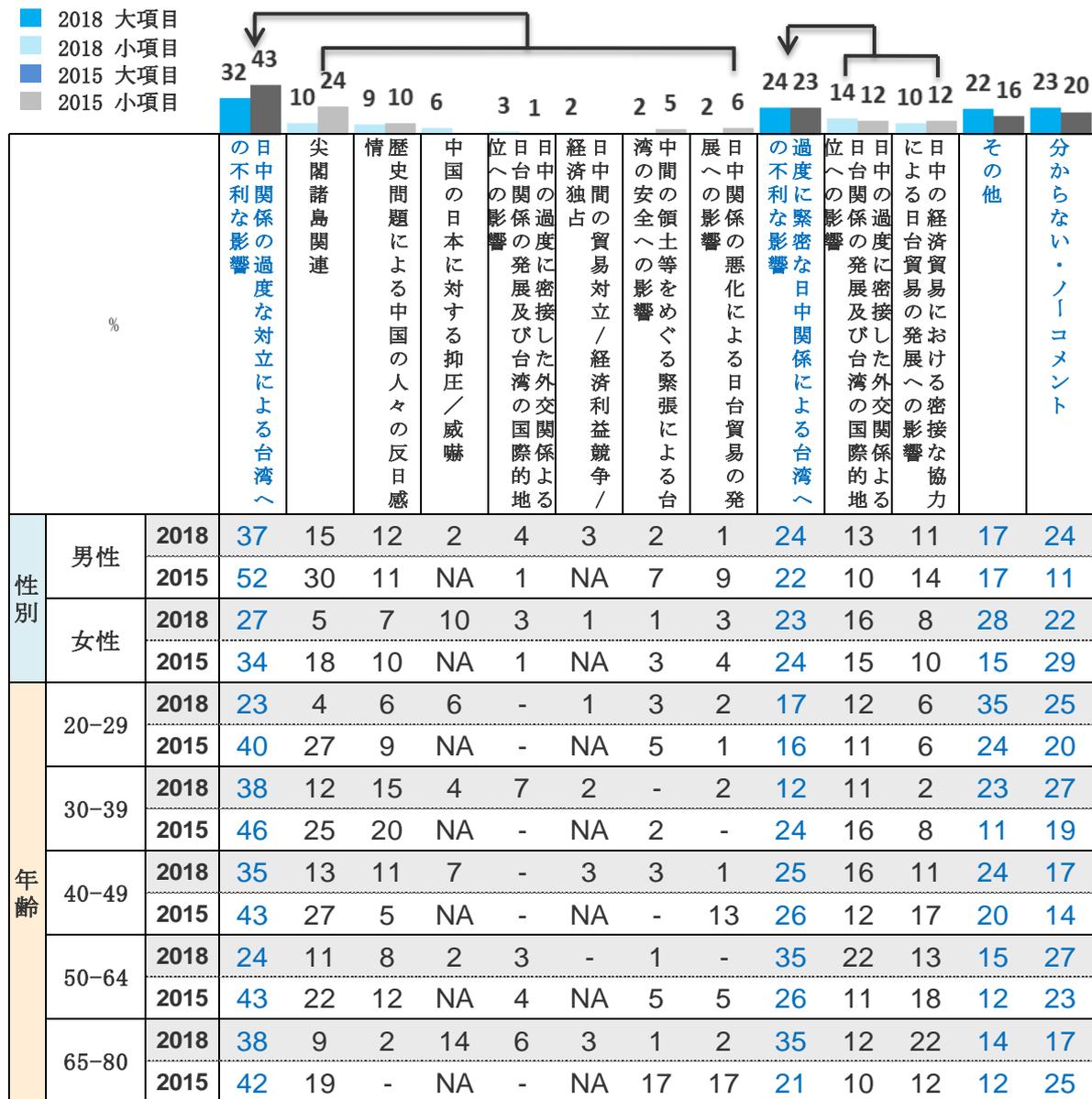
			33	34	19	17	17	4	16	25	9	11	*	1	4	4	2	3
%			係日本と中国の関	漁業問題	日本産食品問題	歴史に由来する問題	貿易経済関係	その他	い難い	分からない・言	特にな							
台湾が親しくすべき国	日本	2018	42	14	14	20	10	-	-	1								
		2015	45	17	4	24	10	-	-	-								
	中国	2018	32	19	18	18	12	-	-	1								
		2015	28	20	4	32	15	-	-	-								
	アメリカ	2018	46	19	15	12	7	-	-	1								
		2015	36	21	3	34	5	-	-	-								
日台関係の将来	発展する	2018	39	18	16	15	9	*	2	1								
		2015	38	16	4	25	12	*	3	3								
	変わらない	2018	27	22	18	18	10	-	2	2								
		2015	28	22	6	25	10	1	4	3								
	悪化する	2018	24	22	28	12	10	3	-	-								
		2015	40	38	-	7	14	-	-	-								
日本へ旅行に行きたいと思うか	行きたい	2018	35	19	16	15	10	*	4	2								
		2015	35	17	4	24	11	*	4	3								
	行きたいと思わない	2018	16	18	26	20	8	1	7	5								
		2015	25	20	6	26	13	1	5	5								

Q22:前設問にて、日台間で最も心配している案件として「日本と中国の関係」を挙げられましたが、具体的に日本と中国の間のどのようなことを心配していますか。

※Q21 の設問で「日本と中国の関係」と回答した方のみ。

※自由回答形式、回答者は自由に回答。

※「中国の日本に対する抑圧／威嚇」と「日中間の貿易対立／経済利益競争／経済独占」は、2018 年度新たに増えた回答。

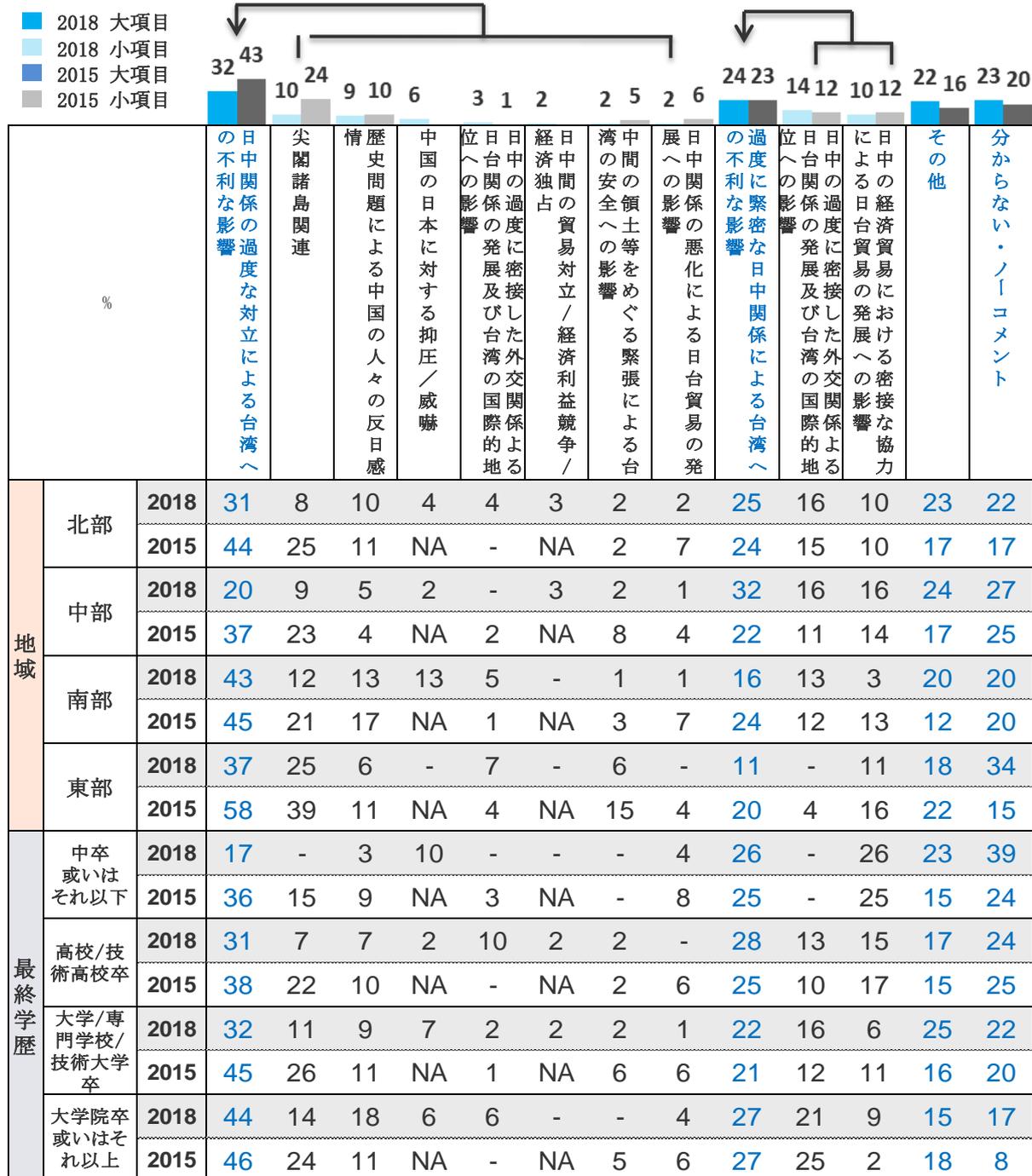


Q22:前設問にて、日台間で最も心配している案件として「日本と中国の関係」を挙げられましたが、具体的に日本と中国の間のどのようなことを心配していますか。

※Q21 の設問で「日本と中国の関係」と回答した方のみ。

※自由回答形式、回答者は自由に回答。

※「中国の日本に対する抑圧／威嚇」と「日中間の貿易対立／経済利益競争／経済独占」は、2018 年度新たに増えた回答。



Q23:今後の日本と台湾の関係について、どのような発展を期待しますか。

※自由回答形式。回答者は自由に回答。

※回答比率が2%以下の項目は、列挙なし。

■ 2018 ■ 2015

		%																																				
		17	22	15	8	7	6	7	6	7	8	6	6	6	9	6	7	6	12	4	10	4	4	3	3	3	3	2	2	2	2	6	5	21	15			
		経済、貿易分野での交流・産業連携	友好関係の保持・安定的な発展	観光旅行での交流	政治・外交・国防交流	積極的な往来・相互互恵	各分野における交流・協力関係の更なる発展・	平和的な付き合い・和平の発展	文化交流・芸術文化交流の活性化・伝	統芸術文化の交流	全面的により方向に発展・よりよい関係へ	科学技術の交流・ハイテクノロジー技術交	流・技術交流	現状維持	学術教育の交流	自然にまかせる・自由な発展	民間交流	農業・漁業分野の交流／漁業関連における友好的態度	／日台領海問題でのコミュニケーション・交渉の強化	尖閣諸島関連	その他	知らない／期待はない																
性別	男性	2018	21	13	4	11	9	5	5	6	7	5	2	3	3	3	2	3	6	16	2015	26	8	3	8	9	6	10	8	12	8	3	3	4	3	1	5	12
	女性	2018	12	17	10	3	4	7	6	6	4	4	5	3	2	1	*	7	26	2015	18	9	8	4	6	6	8	6	11	12	5	3	2	*	2	4	18	
年齢	20-29	2018	15	17	7	2	11	7	6	11	4	4	4	-	1	-	1	7	12	2015	12	16	3	3	15	8	7	14	11	2	5	3	1	*	2	4	7	
		30-39	2018	15	19	4	3	10	7	4	8	5	2	3	5	2	*	1	4	19	2015	17	13	6	4	17	7	8	14	6	5	2	6	3	-	1	5	8
	40-49		2018	14	20	4	3	11	8	3	7	2	3	1	6	3	1	2	3	15	2015	28	4	5	9	2	4	9	4	18	19	5	2	3	4	2	5	10
		50-64	2018	22	8	12	11	1	4	11	1	9	5	6	2	5	4	2	8	27	2015	28	5	9	7	2	6	14	3	13	12	6	2	4	2	2	2	21
	65-80		2018	15	15	7	15	1	4	4	5	8	9	4	1	2	3	3	9	29	2015	21	2	6	9	1	5	4	1	10	11	3	1	1	3	4	9	32

Q23:今後の日本と台湾の関係について、どのような発展を期待しますか。

※自由回答形式。回答者は自由に回答。

※回答比率が2%以下の項目は、列挙なし。

		■ 2018 ■ 2015		17	22	15	8	7	6	7	6	7	8	6	6	6	9	6	7	6	12	4	10	4	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	6	5	21	15
%		経済、貿易分野での交流・産業連携	友好関係の保持・安定的な発展	観光旅行での交流	政治・外交・国防交流	積極的な往来・相互互恵	各分野における交流・協力関係の更なる発展・	平和的な付き合い・平和の発展	文化交流・芸術文化交流の活性化・伝統芸術文	全面的により方向に発展・よりよい関係へ	流・技術交流	科学技術の交流・ハイテクノロジー技術交	現状維持	学術教育の交流	自然にまかせる・自由な発展	民間交流	農業・漁業分野の交流／漁業関連における友好的態度	尖閣諸島関連	その他	知らない／期待はない																		
地域	北部	2018	18	15	7	7	7	5	5	6	6	4	4	2	3	2	1	7	21																			
		2015	23	8	5	5	8	7	10	8	9	8	4	3	1	2	2	6	14																			
	中部	2018	16	13	6	8	7	8	5	5	3	6	2	4	5	2	2	8	21																			
		2015	18	7	8	5	8	5	10	9	13	9	6	2	4	3	1	4	15																			
	南部	2018	16	18	8	6	5	5	7	7	8	2	6	4	2	1	1	5	20																			
		2015	23	10	4	7	7	4	8	4	14	12	3	3	4	*	1	3	17																			
	東部	2018	15	15	14	3	3	10	10	4	4	12	-	1	-	9	3	3	25																			
		2015	24	4	5	7	-	15	7	12	12	19	6	2	5	-	5	3	13																			
最終学歴	中卒 或いは それ以下	2018	15	8	5	6	2	3	2	3	4	5	2	1	4	5	1	10	42																			
		2015	23	5	9	3	1	5	6	-	9	11	3	2	-	3	-	4	36																			
	高校/技術 高校卒	2018	17	13	9	7	4	10	4	4	7	6	2	4	3	3	3	8	20																			
		2015	23	5	5	6	3	7	7	7	18	12	3	1	2	1	4	4	19																			
	大学/専門 学校/技術 大学卒	2018	17	17	7	7	8	5	8	7	6	4	5	3	2	1	1	5	17																			
		2015	22	10	6	6	10	6	10	8	9	9	5	3	4	2	1	5	9																			
	大学院卒 或いはそ れ以上	2018	13	18	5	7	8	5	3	10	2	3	3	2	4	1	1	4	16																			
		2015	18	12	4	8	14	3	13	10	9	8	5	5	2	1	1	8	9																			

五. 結論

(一) 日本に対する意識とイメージ

1. Q1 の、台湾を除いて最も好きな国（地域）について、一位は日本（59%）であり（前回 56%）、前回の 2016 年 1 月調査と同様、二位以下の中国（8%）や米国（4%）等を大きく引き離している。最も好きな国に日本を選んだ回答者のうち、年齢別に見ると 65-80 歳のグループのみ微減であり（前回比 2%減）、それ以外の年齢層は微増であった。また、北部地域にて、日本が最も好きだという比率が増加した。
2. Q2 の今後台湾が最も親しくすべき国（地域）については、日本が依然として一位（37%）（前回 39%）であったが、二位の中国が前回調査から、増加した（22%から 31%へ増加）。また、第三位のアメリカ（15%）は横ばい（前回 14%）、であった。年齢別に見ると、20 代及び 50 歳から 64 歳までの層で日本と回答した比率が前回に比べて減少した。二位の中国は、前は前々回（2012 年）の調査に比べて年齢、地域、学歴に関係なく全てのグループで減少していたが（36%から 22%へ減少）、今回は全てのグループで増加した。
3. Q3 の台湾に最も影響を与えている国については、依然として中国（45%）及びアメリカ（33%）との回答が多数であり、日本（15%）よりも高くなっている。ただ、前回調査、における一位中国（50%）と、三位日本（11%）の差は今回やや縮まった。なお、20 代、30 代、40 代の若い年齢層において比率が増加した国は日本のみであった。
4. Q4 では、70%が日本に親しみを感じると回答したが、前回に比べ、全体で 10%減少しており、年齢別に見ると、全ての年齢層で減少した。また、親しみを感じないとした層は微増、どちらとも言えないとの回答が 65 歳以上のグループを除いて増加している。また、居住地域別では中部・南部地域のグループ、最終学歴別では高校卒から大学卒のグループの日本への親しみを感じる割合が減少した。
5. Q5 の日本について関心のある分野は、観光（80%）、食文化（68%）、日本人の精神・哲学（56%）、自然・風土（55%）と現代文化・ポップカルチャー（50%）の順に多かった。そのうち、20 代及び 50 歳から 80 歳までの年齢層の観光への関心が、増加した。
6. Q6 の日本に対するイメージについては、前回調査と同様に、きまりを守る国（74%）、自然の美しい国（72%）、豊かな伝統と文化を持つ国（69%）、経済力・技術力の高い国（68%）、平和な国（51%）、民主的な国（50%）等の比率が高く、肯定的なイメージが主となっている。

(二) 日本への旅行

1. Q7 の海外旅行で行きたい国・地域として日本と回答した人の割合は微増の 44%であり（前回 42%）、二位以下のヨーロッパ（18%）、ニュージーランドとオーストラリア（12%）、アメリカとカナダ（9%）、中国（8%）など他の国や地域に比べ、依然として高い人気を有している。年齢別に見ると、日本に旅行に行きたいという回答は、20 歳-39 歳の年齢層で 50%を超えており、40-49 歳の年齢層においても 50%近くに上昇した（前回 36%、今回 47%）。
2. Q8 の、日本に旅行に行きたいと思うかとの問いに、行きたいと回答した人は

9割に達し、低い年齢層また最終学歴が高い層ほど、日本へ旅行に行きたい比率が高かった。また、Q9の日本へ旅行する際に魅力を感じるのは、自然環境(73%)が依然として第一位であり、清潔さ(71%)、日本料理(66%)、温泉(66%)、安全性(62%)、神社・仏閣などの歴史的建造物の町並み(62%)、ショッピング(54%)、祭など地方の文化(53%)といった回答の比率が高かった。このほか、アニメ・漫画・J-POP・ファッションなどのポップカルチャーと回答した人の比率も、前回調査に比べ、37%から44%へと増加した。

3. Q10の日本に関する情報源としては、インターネットとの回答が29%に達し、テレビの比率(28%)を上回って初めて一位となった。20-39歳の年齢層及び最終学歴が大学卒以上のグループにおいてインターネットと回答した比率が比較的高かった。が、40歳以上の年齢層ではテレビの回答が最も多かった。

(三) 日台関係等

1. Q13の現在の日台関係については、前回と同じく、53%が良好と回答した。他方、日台関係は悪いと回答した人は2%から4%への微増であり、20代及び30代において、日台関係が悪いとの回答の増加割合がやや高かった。
2. Q14の日本に対する信頼度については、50%が日本は信頼に値する(前回53%)、40%がわからない、9%が信頼に値しないと回答した。年齢が若いほど信頼度が比較的高かった。信頼に値する理由(Q15)として、自由・民主主義・基本的人権・法の支配といった共通の価値観(68%)が最も高く、慎重な国民性(58%)、文化面での共通性(54%)がそれに続いた。一方、信頼するに値しないと回答した主な理由としては、過去の歴史的経緯(86%)、経済面・技術面での競争関係(34%)であった。
3. Q17の日台関係が将来どうなると考えるかとの問いについて、59%が発展すると回答したが、前回調査の64%から微減であり、日台関係が悪化すると回答した人は、1%から5%へ増加した。年齢が若いほど、また、最終学歴が高いほど、関係が発展するとの回答の割合は高かった。
4. Q18の日台間の発展において積極的に取り組むべき分野としては、経済・貿易分野(78%)、文化・学術分野(74%)の交流、との回答が多かった。このほか、防災協力(70%)、環境・エネルギー分野(67%)、少子高齢化対策(58%)における交流が続いた。Q19の文化交流において積極的に取り組む分野としては、前回同様、専門技術(80%)、学術・教育(66%)、ポップカルチャー(59%)等の分野が挙げられた。Q20の日台青少年交流において促進すべき分野としては、前回同様に、文化・芸術交流(75%)、留学生交流(71%)、ワーキングホリデー等の民間交流(64%)及び研究者交流(63%)の順であった。
5. 日台間で最も心配している案件(Q21)は、日本と中国の関係(33%)との回答が依然として多く、続いて漁業問題(19%)、日本産食品問題(17%)であった。なお、日本産食品問題を選択した割合は、前回の4%、と比べ大きく増加した。さらに、日本と中国の関係を最も心配している案件としている理由(Q22)としては、前回より減少してはいるものの、最も多くの人々が日中関係の過度な

対立がもたらす台湾への不利な影響（32%）を挙げており、具体的には、尖閣諸島関連（10%）、歴史関連（9%）、中国の日本への抑圧（6%）の順であった。また、過度に緊密な日中関係がもたらす台湾への不利な影響を心配するとの回答は24%あった。

6. Q23の自由回答形式による日台関係の発展への期待においては、前回同様、日台間の経済、貿易分野での交流・産業連携（17%）を挙げる人が最も多く（前回22%）、次いで友好関係の保持・安定的な発展への期待の15%（前回8%）であったが、差は縮まった。年齢別にみると、50-64歳では経済面を挙げる回答が多数を占めたが、20代から40代では友好関係保持を挙げる回答が経済面を上回った。

（四）日本台湾交流協会の知名度

1. 日本台湾交流協会の認知度（Q11）は、前は58%であったが、今回の調査では上昇し、70%の人が、日本台湾交流協会を知っている/聞いたことがある、と回答した。最終学歴が大学卒以上のグループの認知度は8割を超えた。
2. 日本台湾交流協会のフェイスブックまたはホームページを見たことがあると回答した人（Q12）は23%に留まった。特に50歳以上の年齢のグループ、高校／技術高校卒以下の最終学歴のグループにおいて、見たことがあるとの回答率は10%前後にであった。

（了）